十錢

大正十二年一月二十日第三種郵便物認可
第四年第二號 大正十五年二月一日發行

無産階級戰闘雜誌

進め

第四年◆二月◆第二號

二月號目次

時評

分裂を忌避するな……………卷頭言

第二次無產政黨を警戒擁立せよ
紳商共產黨及び其の亞流と戰へ
建國運動よ汝何處に行く。何故に默するか
分裂に瀕せる政研。議會解散と我等の一票

論彈

△小學敎員に與ふ…………小松尚榮
△資本主義の崩壞…………五月原咆冥
△偶像よ默れ…………關口熊吉
△雜草的思想…………野守信一郎

進め社便り

全士戰報

△經濟行動と政治行動…………高橋龜吉
△第三黨と批評の必要…………鈴木厚
△資本主義と
無產者の歷史的任務…………松山政雄
△農村の無產大衆へ…………渡部信義
△社會主義講話…………石川準十郎
△社會講談 俠骨茂左衞門…………天涯茫々生

編輯室より

社告

新春劈頭に於て吾社は豫ての計劃に基く、新たなる組織の成れるを發表したが、續いて其の新組織の下に、着々と吾社年來の希望を實現する可く玆に先づ『進め戰鬪歌』の募集を、廣く全國無產階級の諸士に告げる。

進め戰鬪歌募集

全無產階級の士氣を鼓舞激勵し階級的意識と團結の偉力を高調して、一擧直ちにブルジョア階級の牙城を粉碎するが、如き戰鬪的氣魄に充滿せる、歌詞極めて勇壯活潑なるものを歡迎する。

用語は家庭の團欒に於て、亦は爭議及び各種の集會に於て、直ちに合唱し得る如き普遍的なる歌曲に適合し得るやう選むこと、例へば勞働歌やメーデ歌、赤旗の歌の歌曲などの如き、一般に周知の歌曲に適用し得ることを、條件とする。

吾と思はん諸君は決して遠慮なんかしずに、送稿を賴む

パンフレット刊行に就て

吾社昨年以來の懸案たりし『進めパンフレット』も、愈々近く印刷を終り續々として刊行される、其の種類は別項の廣告を參照せられたい。內容は悉く一粒選の傑作、無產階級の米の飯だ、吾等は玆に斯の如きパンフレットを、諸君の前に贈り得ることに、大なる誇りを持つものである。

「進め」メタル

『進めメタル』は其後每日の やうに、全國から申込みが來るが、本社に於てはドシドシ製作を急がせて居るから、何時でも御注文に應ずる。定價送料ともに參拾錢です。

支局募集

今や資本主義は全國津々浦々に至る迄、其魔手を延ばし凡ゆる兇暴を逞しうしつつある

無產階級の正義を叫ぶの必要今より急なるはない。

此秋に當り我々は日本唯一の無產階級戰鬪雜誌たる『進め』を全國如何なる山間僻地と雖も、資本主義の魔手の延べる處へ普く配付し、以つて來るべき戰ひの準備たらんとす。

然るに現在の支局は一縣につき僅々二乃至三を數ふるに過ぎない貧弱さである。吾等は此際戰はんとす地方同志は諸君に支局の設置を要望するものである支局規約書は申込次第送呈する。

春田正著
近世社會主義史
定價廿錢 稅二錢

福田狂二著
大衆と共に進め
定價十錢 稅二錢

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

無產階級戰鬪雜誌　進め

第四年　第二號

分裂を忌避するな

「分裂」そのものは第三者的の冷靜を以て之れを觀る時は、決して喜ぶ可き現象とは言ひ得られない。況んや現に支配階級の彈壓に對して抗爭しつつある、我國無產階級の同一陣營內に於て、相互に鬪爭し分裂することは、勿論喜ぶ可き現象ではあり得ない。然しながら水と油とは相似形たる液体ではあつても、之れを相混ぜんとする時に絶えず相反撥する。之れは素より當然の事實であつて、兩者を客觀して液体たる事は同一でありとするも、其の包含する性質を仔細に檢するに於ては水と油とは等しきものではあり得ない　否寧ろそれは全く相反する兩極に立つものである。水は飽く迄も廣く一切を包擁し一切に浸透せんとするに反して、油は如何なる場所と時とを問はず常に自ら凝固し、その週圍を反撥せんとする。然り語を換えれば油は常に、獨善的であり個人主義的である。即ち水の社會的であり大衆的であるに反して、油は反社會的であり非大衆的である。この二者を一個の器に盛つて渾然相融合する姿を見んと欲するも、其の努力の無意義無効果に終るべきは瞭かである　吾等は現下の我國無產階級解放戰の諸方面に現れたる爭鬪分裂の現象をも、屬性の相違より來る水と油の分裂と等しき意味に解する事に依つて、必ずしも哀しむ可きものなりとは思念しない。寧ろ瞭かに相融合し難きものを融合せしめんとして焦燥するの愚を繰返へすよりも、潔く分裂せざる可からざるものを分裂せしむる事こそ、我國無產階級の進路を正道に導き得る所以なりと信ずる。夫れは眞に我國無產階級の解放を第一義的に念願する者にとつては、我國無產階級陣營內に現れたる、この油の如き屬性のものに對しては正に涙を奮つて馬稷を斬るの勇氣を必要とする、斯る事情の下にあつても尚分裂を拒否する事は無意義であり、勇敢に分裂を目指して進む事こそ有意義である。吾等は常に無產階級の幸禍の爲に鬪ふ　吾等が爭鬪の指針は常に何が無產階級の味方であり、何がその敵であるかを明確に意識する事に因つてのみ決定される　然り而して吾等は吾等の階級內に於て恰も水に於ける油の如き反社會性非大衆的屬性を帯びたる者あらんか之れに對つて無產階級擁護の爲に鬪はん事を欲す　然り吾等は支配階級に對すると同じき決心の下に之等の假面群に對つても飽く迄も鬪はんとするものである。

時評

來るべき無産政黨を警戒擁立せよ

新なる無産政黨準備協議會は去る一月十三日大阪中央公會堂に於て開催された。參加團体は製陶勞働、組合聯合・官業勞働、司厨同盟、農民組合、總同盟の六團体、協議の結果かの共産黨派組合の本城たる評議會には參加を勸誘せざることに決定し、而して次回協議會は來る二月十三日東京に於て開催することに決定された。かくして次第に當然の展開が展開されつゝある。氣取つた直譯社會主義、惡辣な手段社會主義はその當然行くべき所に行つゝある。

然し乍ら今回新に計畫されつゝある無産政黨の成行については、未だ俄に我等の豫測し難き乃至首肯し難きものがある。所謂共産黨と密切なる關係あるものと目されて居る一部幹部級を有する農民組合の今後の如きは、今後のその內部的展開と相俟つて我等の最も注目に價する所である。由來權謀術數を以てその特色とする共産黨が、從來如何に總同盟と農民組合との間を離間せんと努め來つたか、而して今日又如何に反共産黨的團体の間を離間し、あはよくば對立に陷らしめんと焦つて居るかは十分知る者ぞ知つて居る所である。この時に當つて新に生れんとする無産政黨がその中心的部分に尙共産黨系分子を有すると云ふことは、それ自身その進行過程に於て十分自重するを必要とする意味を有して居るのである。日本無産階級運動の正しき發展のために、それは絶對的に必要なことである。あらゆる所に於て、共産黨の手に集まるな斬つて了へ

反共産黨無産政黨は、天降り的にでなく、下から築き上げなければならない。それがためには我々は生れんとする過程にある無産政黨の內外に於て、即ち各自各其持場に於て、共産黨的分子と徹底的に衝突抗爭し、正しき日本無産階級運動の發展に必要な過程を徹底せしめなければならない換言すれば共産黨派對反共産黨派の分合鬪爭作用を徹底せしむることである　而して、その各所的の反共産黨力を下から結合し、集中する所に、新なる反共産黨無産政黨の基礎が存在すべきである。然らずんば、朽ちたる閣上に舞踏を始むるが如きものである。

議會解散最初の普選實行の問題が眼前に差し迫つて來て居る。然し乍ら、その故を以て必ずしも不自然な結黨を急ぐべきではない。先づ與へられたる必要な過程を徹底せしめよ

紳商共産黨及び共亞流と戰へ

日本無産階級運動は今や、言はゞ新なる「生みの惱み」に際會しつゝある。所謂日本共産黨事紳商共産黨の御定連及びその全國的フワン連が、鼻持ならぬ獨善的なダンス的運動と齒の浮く樣な最低級の遊戯的議論とに、その錯覺的左翼悲壯感乃至「選民」意識を昂奮させつゝ——丁度一昔前本郷の大通りをのさばり返つて歩いた一高の嬌兒共が、向陵高臺から低く根津の下臺を見下ろしつゝ、チラ〱散る櫻の下に淚を流し、「日本人民」の上に「選民」としての彼等の「尊き使命」を痛感し昂奮した樣に——その傳統的得意とするあらゆる中傷、妨害の手段を講じて居る下から、眞の日本無産階級の要求は、その朴訥なる聲、剛直なる足どりと共に、次第に新なる形成乃至確立に向かつて進みつゝある。而して、彼等はこれを目して「第二インタナショナル主義」なりと呼び「ブルジョア民主主義」なりと呼ぶ　よし、暫くその欲する所に隨つて呼べ　歷史の進展はやがて凡てを證明するであらう。兎に角それは日本無産階級にとつて必要な過程の展開であり　眞に日本無産階級をして解放に至らしむる所以であるのだ。それは彼等の無批判的直譯社會主義運動を、彼等の好きな言葉で云ふならばアウフヘーベン(止揚)した、而して我等の言葉で言ふならば超克した展開であるのだ。

紳商共産黨彼等は、口には尤もらしい事を言つて胡魔化しつゝも、內心この事實に根底から脅かされつゝ、今や如何に焦慮し、如何に狂奔しつ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ゝあるか、而してこの新なる勃興を彈殺せんがために、如何にその得意の術策を廻らしつゝあるか。見よ、媚眼を盡して農民組合に秋波を送りつゝあるを。（過般來つたレプセスは彼等に呼應して言つて曰く「日本に於ける最も革命的な團体日本農民組合の……」と雜誌新人十二月號）見よ死力を盡して總同盟と他の友誼組合との間を離間せんとしつゝあるを。

今や人々はすべてその態度を明かにすべき必要に迫られて居る 紳商共産黨に組するか、反對するか——ロシア社會主義を大降り的にそのまゝロシアの後援に依つて展開せんとする者、同志も民衆も道具とし踏み臺として利用せんとする者に組するか、反對するか、いづれかである。あらゆる無産階級團体は須からくその態度を明かにすべきである。敵か、味方か。

この無産階級陣營内部に於ける戰ひは、その戰ひ透る所まで戰ひ透さねばならない、中央に於ても地方に於ても、工場に於ても村落に於ても。而して我等は先づあらゆる無産階級的團体に對してその態度鮮明を要求するものである。

我が反紳商共産黨同志は各自のその持場に於て、勇敢に彼等及び彼等の亞流と戰へ。その形而上學的迷論に惑はされるな。彼等こそがヘーゲルの所謂「水中に入らずして水泳を會得せんとするもの」であり、ロッツエの所謂「刀を磨いて斬らざるもの」なのだ

分裂に瀕せる政研

昨年九月の大會に於て從來暗默の間に爭ひつゝあつた政研内の二潮流は明かに分裂して、島中、高橋、藤井、中澤、松下其他數氏の中央委員の殆んど全部は連袂辭任した

然しながら中央に於けるこの共産黨派と反共産黨派との分裂は、單に中央での一波紋のみに止まらず次第に全國的に波動して、今や各地の政治研究會支部は動搖し始めやうとしてゐる。共産黨派の所謂日本共産黨の傀儡たるに甘んじない政研支部員、即ち所謂反共産黨派の會員は今や明確に中央委員並に其支持者と鬪爭せんと欲してゐる否現に其鬪爭は福島政研支部に於て、神奈川政研支部に於て、其他の各地に於て、その火蓋は既に切られつゝある、而して共産黨派の根城の如くに思はれつゝある東京に於てさへも、其形勢は觀取し得られる。其は唯單に一時期一の問題である。

昨年末の農民勞働黨の禁止に依つて共産黨派の無産政黨参加は殆んど絕望であることが明かにされた以上、また彼等の執る行動、即ち目的の爲には手段を選ばぬ、否目的を放擲して迄も手段を選ばぬ行動が明かにされた以上、誰か默々として其れに追從する者があらう。政治研究會が全國的に二分されるのも必然であり、其れからのみ眞に無産大衆の爲の、よりよき政治研究會が生れる可きことも必然である。斯して我國の社會運動は其進む可き道へ正しく進むだらうことは明らかである。

何故に默するか

大正十五年新春の劈頭に於て、吾人は最も苦々しき事件に遭遇した。それは三重縣木ノ本町に於ける鮮人勞働者と木ノ本町民との爭鬪事件である。

ブルジョア各新聞紙の報ずる所に見ても、其の原因は木ノ本町活動寫眞舘主の食客某——恐らくこの食客某なる者は要心棒として資本家に雇はれてゐた無頼漢であると推察するに難くはない——が鮮人勞働者を刀で七個所までも傷けたことに端を發してゐるらしく思はれる。それにも拘はらず、木ノ本町民並に同地警察は直ちに去る年の震災當時の如くに自警團を組織し、在鄕軍人團に武器を執らしめて鮮人勞働者三百餘名に對抗せしめた。その結果は木ノ本町民一名と鮮人勞働者二名の死者を出し、鮮人側に多くの重傷者を出した。

正義の觀念は人種の如何、國の如何を問はず常に正しい所に向つて動かなければならぬ。勞働者なるが故に、殊に鮮人なるが故に理を非に曲げるが如きは人類生活の規範より觀て許す可からざる罪惡である。況んや武力を恃んで弱者の權利を蹂躪して恥ぢざるが如きに至つては『仁義と勇敢とを賣物にしてゐる、日本人』の面汚しである。

彼の佛蘭西に於ける猶太人大尉ドレフユースの罪なくして叛逆罪に問はるゝや、市井の一文士エミル、ゾラは直ちに立つてドレフユースの爲に佛蘭西陸軍當局の非を天下に訴へた。爲めに佛蘭西は世界に國辱を曝すことから免れた。借問す日本の智識階級の徒よ人類愛の使徒よ、汝達は何故に平常口にするが如く勇敢に之等鮮人勞働者の爲めに訴へないのか。勇敢なる日本の愛國者よ、何故に國辱を雪ぐ爲めに起たないのか。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

議會解散と吾等の一票

政友本黨は遂に床次を中心とする居殘り黨と、中橋を取巻く同交會とに分裂した。これで今年度の議會もどうやら切拔られると安心した憲政會並に其政府の喜ぶ隙もなく、昨今の狀勢は却つて政友本黨の硬化を傳へてゐる。一月十日の新聞の報ずる所に依ると政界の一惑星後藤新平が、吉例に依つて何やら策動してゐるらしくもあるが、ブルジョア議會の解散か非解散か、憲政會內閣が倒れて政友會內閣が出來上つた所で、それは要するに三菱と三井が政權授受をやつただけの話で、無產階級にとつては資本家の番頭內閣であることには變りはない。然しながら政治は勢ひである。機に臨み變に應じて何う變化して來るか知れぬ。今期議會が野黨の力によつて政府が倒されるなら兎も角も、政府が腰を据えて議會を解散したとすれば、この五月あたりに施行される總選擧は、即ち普通選擧法に據つて施行せられることゝなる。無產政黨の樹立は當局の彈壓に依つて即時解散され、再組織に着手してはゐるけれど、それは本年五月の間に合ふか何うか斷言し得られない狀態にある。

斯して不統一の儘に、總選擧に直面する吾無產階級は、必ずや、其陣野に於て敵味方相互に亂れ撲つの混亂に陷るであらうが、その時の形勢は吾等無產階級にとつて今から見定め難いばかりでなく、ブルジョア階級にとりても同樣であらう。彼等ブルジョア階級の宣傳するところを聞くに普選によつて從來の如き金錢に賴る買收は減じて辯論の力が勝利を得るであらうと。然し吾人の觀るところは必ずしも左樣ではない。寧より以上に「金力の魔手」が無產階級の頭上に伸べられる事を思ふ。而して都會勞働階級よりもより強く政治の問題に熱心と興味を持つ農民、そして階級的には都會勞働者よりも遙に自覺の薄い農民は、この「黃金の魔手」に攫はれる可能性をより多分に持つてゐる。

吾等は吾等の一票を投ずる前に、何が無產階級の味方であり、敵であるかをハッキリと見定めて懸らねばならぬ。それが農民解放への道か。鐵鎖への道かによつて吾々の一票は投ぜられる。政友會の產業立國策、憲政會の財政緊縮農村振興策は、所謂富農の解放策ではあり得ても、吾等農村プロレタリア解放の道では決してあり得ない。吾等の議會行動は無產階級をブルジョア化する爲の行動でなくしてブルジョア議會を無產階級化することに目標があるのでなくてはならぬ。吾等の一票はその事の爲のみに投ぜられるものであることを明確に意識せよ。

建國運動よ汝何處へ行く

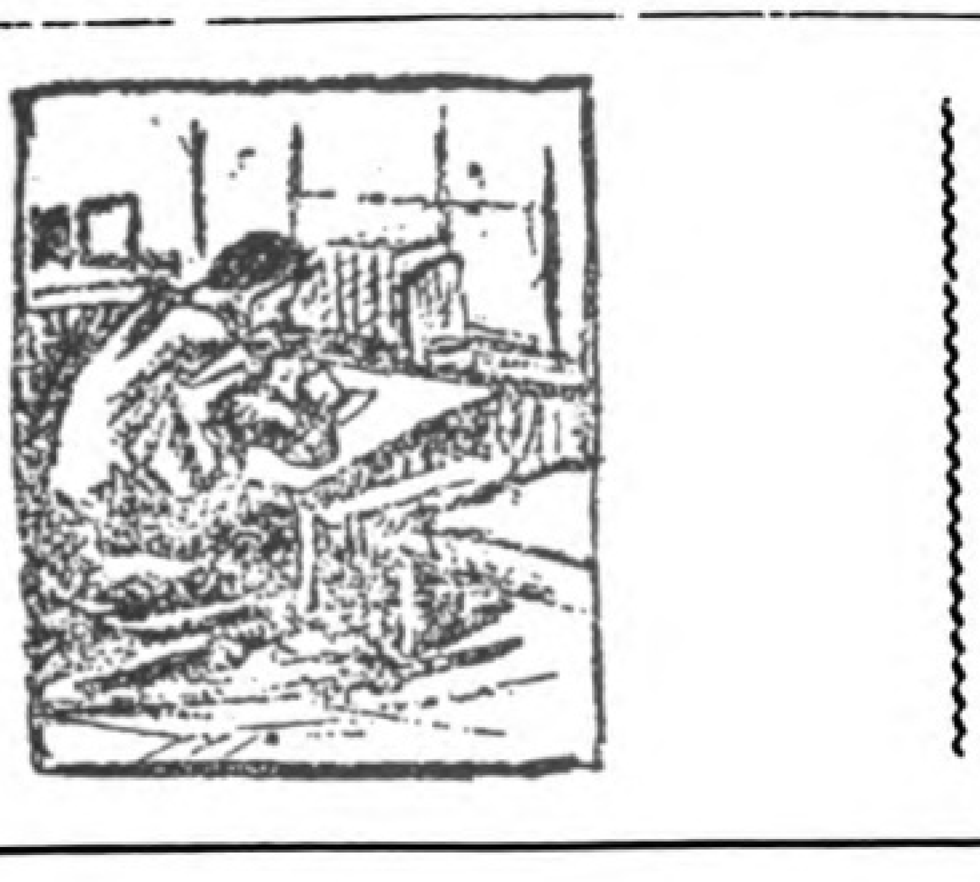
來る二月十一日(紀元節)前東京市長永田秀次郎を會長とする「建國會」主催の下に東京市及び其他に於て、大々的「建國祭」乃至「愛國デー」が開催され、それを端として以後所謂「建國運動」が續けられることある。

當日建國行列に參加する者は恐らく在鄉軍人團、靑年團等が大多數を占るであらうと思はれる。而して、之等の集團は主として我が無產階級より成るところのものである。そして、その參加の動機は恐らく漠とした彼等の所謂「國民意識」乃至「國家意識」換言すればよりよき共同生活を愛する漫然とした念願――に在るであらう。問題は此處だ。

そのよりよき共同生活を愛する漫然とした念願――それは何であるか。それは實は開明せられざる素朴な形態に於る「社會意識」なのだ。而して、その心持を現實の社會にまで推し進めて考へる時、それは何處に至るべきであるか。

「建國運動」に參加せんとする兄弟よ、省りみよ!今日諸君の祝福せんとする日本國家內に何が開展されて居るか。國民の大多數を占る無產階級は際涯なき生活の不安の中にたゞよつて居るではないか。二百萬の人間は失業と云ふ事實の中に飢餓に呻吟して居るではないか。

「建國運動」よ、省りみよ。汝そも何處へ行かうとするのであるか!



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

政治行動と經濟行動

高橋龜吉

私は、政治研究社の機關紙「政治研究」の大正十三年九月及び十月號で、（拙著末期の日本資本主義經濟と轉換第二篇第三章に採錄）次の意味の如きことを述べた――勞働組合の經濟行動は、資本主義が未だ發達期にある時代の、無產階級の解放手段である。然るにその國の資本主義が行詰つて、已に凋落期に轉入せる時代に於ては、無產階級の解放手段は主として、政治行動に依存せねばならない。然るに日本の資本主義的經濟は今や已に凋落期に轉入してゐるのであるから、日本の無產階級の解放運動は從來の如き、經濟行動一天張の組合運動から主として政治行動に訴へる組合運動に進展せねばならない――と。

所で私のこの論文は大分に諸方から批評を受けた。が要するにそれは「經濟行動」とか「政治行動」とか云ふ言葉に盛られた意味の差異に基くものであるらしく思はれる。

私の考へる所によると無產階級解放戰術としての「經濟行動」の本質は、その勝敗の決定を專ら資本家の打算に置く所にあると云ふ意味は、ストライキによる損失と、勞働組合の要求を容れる損失と、何れが多大であるか、それを秤量し打算せしむることによつて、資本家の態度が定まると云ふ鬪爭を、資本家に對して戰ふ場合に之を「經濟行動」と云ふのである。

之に反し、「政治行動」と云ふのは、私の考へる所によると、資本主義の仕組上個々の資本家に對しては要求し得べからざる無產階級の要求を、一の組織改造の中に織込んで、その組織改造の要求――云ふまでもなくその組織改造を要求し、實現せしむるには背後に無產階級の團結が必要である――の名に於て資本家階級全體に對して戰ふ、無產階級の解放手段を云ふのであるから、それは單に、議會場裡の戰ひのみに限られるわけではない。例へば組合を基礎とする工場委員會の如きが設けられ、又は獨逸の如き經濟會議が實現されたとせば、さうした制度によつて戰ふ有ゆる無產階級解放戰は、それは云ふまでもなく政治行動であつて經濟行動ではない。

經濟行動と政治行動との區別は斯くその手段にあつて、究極の目的にあるわけではない。この點について、多少誤解がないではないやうだ。

例へば普選の實施であるとか、治安維持法の撤廢とか、勞働組合法の設定乃至改廢運動等の如きが政治行動で勞働條件の改善の要求が經濟行動だと考へるが如き誤認である。云ふまでもなく、政治行動も經濟行動もその目的は時に直接と間接との差はあるが、要するに無產階級の經濟的位置の改善にあるわけで、その間に差はないのである。

茲にいふ無產階級の「政治行動」について、特に注釋の必要を感ずることは、無產階級の政治行動は、組織化された民衆を基礎にせねばならないと云ふことである。ブルジョアー政黨は、總選擧又は補欠選擧の時、單に投票を漁るためにバラ〳〵に散在する選擧民に餌をなげて之を釣り出すに過ない。

しかし、無產階級の政治行動は、代議士や市町村乃至府縣會議員を中心とする政治行動ではなくて、組織化された無產階級を中心として動く政治行動でなくてはならぬ。代議士や市町村又は府縣會議員が巾を利かす、今日のブルジョアー政黨と異なつて、有ゆる政治行動の實權は組織化された民衆の手にあり、又、その民衆によつて一切の選擧費その他の無產階級の政治行動に必要な經費が支出されるのでなくてはならぬ。

又、前にも言及した如く無產階級の政治行動は單に今日云ふ所の政治團体に對してのみでなく、農會とか、消費組合、工場委員會等の經濟團体に對しても、その中に這入つて活動せねばならない。而して之等各種の方面に對する政治行動を統制する機關は、今日の既成政黨の如き政黨本部（それは代議士の機關に過ぬ）に在るのでなくて、組織化された無產階級の團体自らの裡にあるべきだ。問題は政治行動を中心にして、如何にして、民衆を組織化するにある。云ふまでもなく、その中心は勞働組合、農民組合等にあるわけであるが、しかし、現狀に於ては、さうした組合は先づ經濟行動――積極的乃至消極的目的の下に――を中心にして組織化されたものである。そこで、さうした種類の組合以外に、乃至はさうした

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

組合を更に增大するために政治行動を中心にして、民衆を組織化し得るか、否かゞ再び問題となるのであるが、いかにも現状のまゝではそれは極めて困難である。がしかし、それは今の政治を改造して、政治の中心を經濟活動におき國家又は地方團体、或は各種組合に於て自ら經濟行爲を營むことにすれば、容易に無産階級を政治行動を中心にして組織化し得るのである。例へば國有鐵道の下に於て、その從業員を組織化し、その經營に參加する方法を講ずるが如き、又は村役場に於て肥料の購入、生産物の販賣を行はしその運用機關として、生産者即ち小作人、自作農を組織化する如きである。斯樣なわけで無産政黨の綱領としては、經濟行動を中心としては組織化し得ざる無産階級分子、を政治行動を中心にして組織化し得るやう、政治の組織を改廢することが最も重大な研究問題の一つとなるのである。私が私の無産政黨の綱領私案に於て政治の地方分權を主張する理由の重なる一つは之れである。（完）

資本家的立場より勞働組合を必要とする經濟事情の成熟

社會局の勞働組合法が發表せられて以來、勞働組合に對する多くの資本家側の意見が發表せられた。就中東京商業會議所の如きは、十二月十一日（大正十四年）の委員會に於て左の如き主旨の決議をなし勞働組合法設立の時期尚早意見を發表した。

東京商業會議所對
勞働組合意見

産業の消長、國民の安危に重大なる關係を有する勞働組合法の制定は其國固有の國情と其産業状態に適應し勞資協調を基本とし、其福祉の增進と産業の發達に資するものならざる可からず。然るに今次政府發表の勞働組合法案は甚だ未熟不徹底にして、遠く此趣旨に悖り却つて産業の發達勞資の幸福二つ乍ら之れを期せる能はず、加之のみならず今や世界勞働運動の一大轉換期に際し、急遽未熟なる此種立法を敢て爲す可きに非ず、須らく更に愼重なる攻究を遂し以て完全適切なる法案を得る事を要す。

更に、之を資本家個々の實際に於て探りつゝある態度について見るも、その多くの勞働組合の存在を極力否定し、之を撲滅せんとする所にあるかの如く觀られる、しかし乍ら今我國現在の勞資關係の實状について研究せば、資本家的産業經營の安定上却つて資本家的立場から勞働組合の存在を必要とする經濟事情に熟せることを發見する。

私は今そのわけを最近に於ける（大正十四年十一月末から十二月初にかけて）印刷工の勞働爭議について觀るであらう。十一月廿五日、日清印刷株式會社の職工は次の如き要求を會社に呈出したが、之に對し、會社は左に示すが如き決答を與へ、茲に新年號の印刷を前にして、勞働爭議勃發し、多くの定期刊行物は、その發行を餘儀なく遲延するの止むを得ざるに至つたのである。

日清印刷株式會社
職工要求書

一、最低賃銀制の件
男子一圓五十錢　女子一圓

二、給料整理の件
全從業員一人當り平均二十錢を昇給すること、但し整理委員會は會社側と從業員がわと同數の委員を以て成立する

三、夜業割增の件
夜業二時間を超ゆる四時間迄は五割增、同四時間を超ゆる十二時迄は十割增、徹夜は三時迄とし二十五時間支給のこと、婦人工の夜業五割增

四、月及週間皆勤の件
週間皆勤には五時間、一ケ月皆勤には更に一日を支給のこと、但し毎朝十分迄の遲刻及不可抗力に依り遲參せるものにして論明のあるものに限り皆勤に差支へなきこと

五、定期昇給制の件
毎年六月、十二月全員に對し定期昇給を行ふこと

六、工場協議員會制改正の件
從業員側の協議員數を現在より五名增すこと、議場にて決議したる事項は完全に實行する事、選擧法を改正し入社と同時に十八歳以上の男女に選擧權を賦與すること、其他の改正條項は特別委員會一任、特別委員會は會社側從業員側と同數の委員を以て構成すること

七、積立金通帳の件
各人に預入れの翌月より利子を記入して通帳を交附することゝ

以上
從業員一同

會社側回答

一、要求は絶對に入れず、其の理由は社是に反せる故

二、會社現在の規定に承服の者は明二十九日午後四時迄に其の旨會社に屆出づべし
二十九日午後四時迄屆出ざるものは退社したるものと見做す

大正十四年十一月二十八日

一、諸君は公平を欲せらるが故に其の希望に添はんが爲め東京印刷業者全部の賛同を得左記十一社、秀英社、凸版印刷株式會社、博文館印刷所、東京印刷株式會社、東洋印刷、株式會社築地活版製造所、三秀社、三省堂、小島印刷株式會社、精美堂、日清印刷株式會社以上同一賃銀制度を布く事に決議したるに付、來る十二月一日午前十時迄制定發表す

但し此れが決議發生の原因は是迄印刷業界に於て頻發せる爭議の根絶せんが爲めに此の擧に出でたるものなり

然るに今、何故この交渉が破れて遂に勞働爭議が勃發したかと云ふに、問題の中心は職工側の要求が果して過當か妥當かと云ふ見解の差にありと云ふよりも寧その主因は他にある。即ち資本家側の云ふ所によると「職工側は是迄殆んど隔月の如くに團結しては新しい賃銀增加の要求をして來

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

てゐる。その度に事業の性質上得意先に及ぼす迷惑の大なることを慮つて、幾分かづつ要求を容れて來た。しかし乍ら、今斯樣な考慮から何時までも職工側の云ふまゝにして、事件を無事に解決して行かんか、遂に職工に對する統制は行はれ得ざるに至り、會社は存立を失ふに至るであらう。現に、某大印刷會社の如きは、この難局に面してゐる程である。即ち會社側が多大の犧牲を敢てして斷乎として職工側の要求を拒絶する理由は、この點を(會社の存立を危くする)を踏まざらんがためである」と。

即ち、これを他の言葉で云へば、假に要求は容れてもよいとしても、今之を容れゝば之に味をしめて直後から第二第三の要求が起るに違ない、と云ふ點が資本家側の最大の「要求拒絶」の理由である。しかし乍ら斯樣な考へ方は一定の期間例へば一年なり二年なり、三年なり、再び賃銀其他の要求をしないと云ふ條件の下に要求を蹴すると云ふことを全然考慮外においてゐる。そのわけは今日の我が勞資關係に於ては斯樣の契約に對し責任を荷ひ得るこの信賴のおけるものがないと云ふ考へが意識的にか、無意識的にか資本家側にあるからである。しかしながら實際に於ては、今尠くとも印刷業資本家は、この信賴のおける勞働條件の契約者を迅速に必要として居る經濟事情にある。何となれば今印刷工の要求を容れると云ふことは已述の困難があり、されば云つて、今回の如く之を拒絶して幸ひ資本家が勝利を得たとしても、職工側は假令今回は屈服しても、教科書季節其他のノッピキならぬ時期を撰んで、第二、第三の要求を提出すべきことは火を見るよりも明らかである。(其後爭議は一週間の後資本家側の勝利となつたが、資本家側は今尚ほ前途の不安に襲はれてゐることに變りはない)果して然らば、たとへ今回は多大の犧牲で資本家側が勝たにしても、それは何等の解決でなくて、印刷所は常に職工不安の脅威を脱せず、從つてこれに依賴する定期物發行者は安心して之に依賴し得ず、印刷業者は得意を失ふことになる譯であるからだ。現にこの意味に於て、定期刊行者自ら自家用印刷所を持つ必要が痛感せられて來た。

しかも、いま勞働者がわに於て印刷資本家がわの要求するが如き信賴するに足る勞働條件の契約者我國になきかといふに無論さうではない。即ち勞働組合の經濟的目的はその役目を果す機關として發達せるものであるのだ。然るに我國の資本家は從來勞働組合を極力無視する方針を採つて來て、いま尚これを固守してゐる。しかも、その實際に於ては今日の勞働勢力の攻勢に追つめられて、今や勞働條件の契約に對し、將來に責任を負ひ得るもの即ち勞働組合を要求してゐる。資本家(尠くとも印刷業)がわは今このヂレンマに陷つて多大の困難を甞めてゐるのだ。即ち之を他の觀點から云へば、斯樣に我印刷業者がヂレンマに陷るに至つたと云ふことは尠くとも印刷業に於ては資本家の立場から云つて、勞働組合を公認せねばならない事情が己に熟したと云ふことである。云ふまでもなくこれは單に印刷業に限れることではなくて他の同種の勞働爭議になやめる諸種の罷業に於てさうである。現に我が船舶業者の如き己に海員組合を實質上認めてゐることによつて航海途中に於る勞働爭議勃發の不安から免かれてゐる。斯樣に見て英國の如き先進國に於て資本家が却つて勞働組合の存在を必要視してゐる所以を確め得るであらう、いかにも我が勞働組合員の一部には資本家の相手にするを欲せない。過激なものがないではない。しかし乍らこれを以て全班を推すはたまく資本家がわの我が勞働組合運動に無智なることを證するものに過ない。しかも之とてもその大部分は資本家がわが勞働組合を公認せず組合運動唯一の手段はストライキ以外にない現狀の所産があるに於てをや。何となれば斯る形態の下に於ては事を合理の下に解決せんとする所謂穩和派が勢力を失して鬪爭本位の過激分子が勢力を得るが當然であるからだ。

流行

近頃實に不思議なことが流行る。流行るものは冬の流感と夏の赤痢、それに丸ビル女の耳隱しと中學生の猫介と、新感覺派青年のモミ上の長いのだけだと思ふ勿れ。まだ其他に所謂社會主義論客の著書が大抵は種本が外國にあることだ。それをホンヤクして扨日本文字にして見ると何れも申合はせたやうに××××著となることが流行つてゐる。さては噂に傳え聞く共產黨切支丹バテレンの秘法か、または印刷屋サンの誤植か、著者の誤譯か、オット膽唖々々、無產階級の諸君よ欺されまるぞ曰く「無產階級の世界史」「西洋社會主義運動史」其他等々山の如し。これに較べればクロポトキンの「農業工業及び工場」を上野圖書館から譯した人の方がまだまだ御愛嬌があると云ふものだ。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

論彈

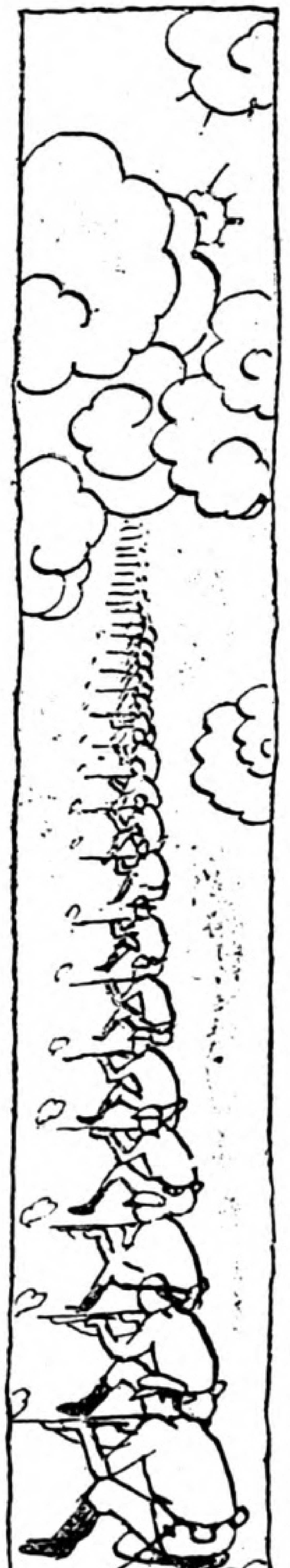
小學教員に與ふ

小松尚榮

眞摯にして兒童の愛護に勉める、諸君！或は劣等兒の救助、貧困兒の出席督促、低能兒の教育、貧困を憐み或は學用品の支給、共に笑ひ共に語り、曾ての官僚主義、詰込主義、殺人教育をして影をひそましめ、勇敢に自己の所信に向かつて進まる、諸君！自由教育ダルトン案、曰く何、曰く何、教權よりの解放、兒童自らの爲自由の爲、彼等を愛せよ！と。彼等第二國民も亦多幸なるかに見へた。然り而うして教育者諸君も又完備として微笑まん。

而し此は單なる自己陶醉でなくて何であらう。一歩眼を轉ぜよ。生長期にある彼等が朝夕二度の貧しき食事に空腹を忍び營養不良に苛さめたる飢色、破衣一枚にて嚴寒におのゝき悄然たる多數の彼等兒童！樂かるべき晩餐も疲れ果てたる冷たき父母のまなざし、貧しき食膳、一家團欒も唯文字のみ！一言の慈愛、一片のパン、よく彼等を救濟し得べきや！都會に將た亦農村に勞働者農民の生活苦、生活難に怯へ苦悶なる轉輾を繰返しつゝ喘けるかを！罪なき愛すべき兒童の大部數は實にその濁流に投ぜる一葉の破片ではないか、全國九百萬の兒童中約八割は此喘けるプロレタリアである。更に學齡期の兒童にして貧困の爲就學し得ざる者尚二百萬を算す！此慘憺たる現實の救濟を心掛んともせず社會の現狀兒童の眞生活に立脚せざる兒童愛は可憐なる兒童の爲三斗の血淚をそゝぐと雖も何單なる犬猫の母性愛より一歩を出ずるのみ。かくの如き盲目愛は速かに動物社會に委して然るべきであらう！如何にその教科教授に一意專心是勉むと雖も尚彼等兒童生活をして厘毛の救濟にもならざる次第ではないか、藝術教育、自由教育何物ぞ！

悲慘なる無產階級を簇出せしめたるは勿論現資本主義制度である。而して此資本主義制度の續く限り搾取の續く限り如何に愛を說き教育に熱心なりと雖も、決して彼等を救ひ幸福を與へ得る所でない、諸君の日夜研鑽おかざるその教育なるものは單に徒にして幼稚なる本末轉倒の兒戲のみ。彼等の貧困、困苦、不幸は言ふ迄もなく、間斷なき資本主義の搾取によるものである。如何に人類愛を高唱し兒童救濟を絶叫すると雖も、その根本に觸れざる寢言は唯單なるたわ言のみ！根本は現教科書にある諸君の日々捧持する教科書とは如何なるものであるか、國語に見よ、修身に見よ、歷史に見よ、何れも極端なる資本主義、軍國主義、支配階級謳歌ではないか、教科書なる現支配階級擁護、無產階級痲痺劑をば如何に食はせようが、飮ませようが、その方法が進めば進むだけ唯弊害の積もるのみ！要はその痲痺劑にある、眞に社會意識に眼ざめ眞に兒童愛を高唱する者なれば必然痲痺劑より滋養物への叫びを叫號すべき筈である。現支配階級奴隷製造！是即ち過去現在の教育である。教育家諸君は實に支配階級の走狗である。彼等を資本主義の鐵鎖に縛し乍ら、拱手傍觀徒に自由を云爲し愛を唱ふ何たる愚さぞ。而して諸君自らもその大多數はプロレタリヤの一員であらう。待遇の不平を口にしながら、資本主義を謳歌する自己をして支配階級の奴隷たらしめ又自己を搾取せしめる。自らの墓穴を堀るとは諸君の事ではないか眞に兒童を愛し自らを愛し教育を口にする程の者ならば直に社會主義、人類解放、無產階級運動に馳せ參じ速かに奴隷の鐵鎖を切斷し、可憐なる彼等を解放救濟すべく突進すべきである。全國二十餘萬の教育者中眞に眼覺め將た眼覺めんとする者果して幾人かある。只管恩給をねらひ校長の巣をねらうの老朽小鼠、骨なしの若朽達に迄呼びかけんとする者ではない。無產階級兒童眞の愛に心し、眞の救濟に勤めんとする正義に燃る若人



に望む大策である。起てよ！正義に燃ゆる教育者諸君！諸君の自覺によるプロレタリアートカルト！ それは將來無産階級解放運動に如何に大なる役割を演ずるであらうか？

資本主義の崩壊

五月原咆冥

あらゆる資本主義的帝國主義國家に於る條約の締結は、いかなる場合にも「平和」なる名によつて行はれる、これは相互の侵略的手段であつて、決して我らの望む――眞の平和――ではないのである、我ら無産階級を背景として、我ら無産階級の利害を考慮に入れての「平和」ではないのである 彼ら支配階級及び搾取階級の侵略的、搾取的常套手段である。

であるからして平和條約は決して彼等の言ふ「平和」――虚僞的――を招來するものではなくして、却つて條約の數を増すことにその平和なるものへ一歩一歩遠ざかつ行くのである

相互に侵略し搾取せんとすれば必ず一方に侵略され搾取されて不利な立場に陥る國家のあることは當然である。此に反目生じ、平和なる常套手段を以てしては局を打開することが出來なくなると彼等は正義の名の下に、極端に野蠻な手段にうつたへてまでも、飽あくことなく侵略搾取せんとするのである。吾らは愛國正義の名の下に召集せられ、彼等支配階級の利益の爲に、殺人奪掠を敢てしなければならない。

彼らは修身歴史を以てブルジヨア的に我らを教育した。所謂青年教育にといふものによつて、成功を說き無産者の功名心をそゝり變体的な名譽心を培植して、資本主義社會の矛盾罪惡を蔽かくさんとする。

又此頃はやる勤儉貯蓄を無智なるプロレタリヤに宣傳して資本主義經濟組織の欠陥と罪惡とに盲目たらしめんとする 而も利己的な社會政策とか、社會奉仕とか、又慈善事業を施いて、盲目なる無産者に恩を賣らんとする。

而しながら歴史的必然は彼ら搾取階級及び支配階級の暴虐を默過するものではない。

滔々として發達しつゝある、無産階級解放運動は、この暴虐この横暴に、○○を投ずるものである。

最早彼らの基礎はゆるぎつゝある、資本主義經濟組織は破壞されつゝある。

彼らの所謂平和といふものも實現さるべくもない。

それはすでに彼らも知つてゐる。が未來社會の、賊、名譽權力の奪還――への恐怖に戰慄してゐる、失ふもの、抱く未練執着にこびりついてゐるのであるからして彼らの資本主義社會の一日も永からんことを冀ふのである勞働法、小作爭議調停法案はそれの暴露したものである。

燦爛たる我らの正義に眼を閉づる事のできない彼等支配階級及び搾取階級は、妥協的、相互協調主義によつて一日も彼等の社會の永續の可能を得んとする。

見よ。亡びゆく彼らの狼狽振の下劣さを――彼らは過去のムクガラである。

我らには未來がある。

吾々は闘はなければならない

――共同戰線――革命――

何物をも燃きつくす強き熱と何者にも屈せざる、何ものにも拘束せられざる意志――絶對意志を以て戰はなければならない。

妥協は共同戰線への裏切ものであり、無産階級解放運動への冒瀆であり、未來への罪惡である。

未來は我らのものである。

―一九二五、一二、一五―

（七面より續く）

現に、海員組合は、初め、總同盟を餘りに右翼として脫退したが、船會社がわがこれを賃下認めて後の、今日、最も所謂穩健なる組合と化して居る。

――――

▽　△

一年の裡に新年が幾つ來ようが、吾々プロ黨にはお芽出度も何共ない。今年も吉例によつて「新年を賀し奉る」ハガキが舞ひ込んだが、吾々に取つては賀し奉る何ものもない。吾々プロ黨にありとするなら年々歲々相も變らずに餓死奉る自由があるだけだ。然しこれは何も新年には限らない。春夏秋冬を通じてガシ奉る境界に居る吾々には、この日々の「ガシ奉る」が吾々プロ黨の鬪爭だ。この鬪爭を忘れて幾度新年をガシ奉つても、そんな自由は河童の屁だ。

▽　△

日比谷座の蓋あきを前にして、政本黨と憲政會とが秋波の贈答をしたり、政本黨の中の橋派が三下り半を床次系に献上したり、此不景氣の世の中に、さりとはブル階級は御多忙な事だが、然しそれも「新年を賀し」た空景氣の景品か その癖お互樣に腹の中では解散風が恐ろしくて、三すくみの態でゐるぢやないか、仕幸

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

偶像よ默まれ

関口熊吉

地方廳の胥吏が、町の校長が、村の坊主が俺達労働者に向かつて、無暗矢鱈と勤倹貯蓄の奨勵演説をして御座る。思想の善導は御出家様方の責任、御役目とあれば、俺達労働者が随喜渇仰にむせんで聞いてゐるとでも自惚れて御出でになるのであらう。だが待て坊主、そう早合點して貰つては困る。俺達は既に、時代おくれの偶像の口から、御經の文句などを聞く事に飽き果てゝゐる。村の教員が何だ。巡査が何だ。僧侶が何だ。俺達の安眠を妨害する蚊の鳴き聲は狎坊主の寝言は、百害あつて一つの利益もないものばかりである。

勤倹と貯蓄とは相矛盾した二行事ではないか。俺達は精を出して働けば働くほど貧乏するのだ。倹約をすればする程生活状態が低下してしまふのだ。それに反して俺達が貧乏すると、裕福になるのは資本家共である。貯蓄のできるのは地主共である。此地主や資本家をして、益々貯蓄をなさしむる為に、俺達労働者だけ、此上にも多量の汗を流して働けと云ふのか。馬鹿にするない。この糞坊主め。お前達偶像は、娑婆にのさばり出て説教などする代りに、奥の佛間に這入つて、蘇塔婆でも抱いて寝た方が氣楽であらうに。

俺達労働者は、お前達のやうな資本主義者の走狗や、またお前達の主人である悪企業家との協調を止めて、俺達働く者同志に團結し、結束して堂々と階級闘争を續けようといふのだ。誰人にもせよ、我々の團結を裂き離そうとし、我々の階級闘争を防碍し、我々を悪資本主義者と協調せしめようとする者は、これ皆俺達労働者の敵である。

世界大戰の當時に於て、俺達労働者の仲間が、悪資本家に欺かれ、其口車に乗せられて、資本家と協調を事とした為に、それ以來労働者の生活條件が著るしく低下されてしまつた。獨逸に於ては八時間制度は疾うに廢つて、九時間或は十時間制度の下に、職工達が酷使せらるゝようになつた。英國と日本とに於ては少からざる失業者が生じた。幸ひにして失業せざる者も、此頃では愈辛辣な労役を課せられ、賃金を低減せられ、傷病上の犠牲者さへ續出するの有様となつて居る。

資本家若くは企業家なるものは、其本來の性質として、生産の増加を労働者に強要し、安價な原料を用ひ、製作上の手間を簡略ならしめ、粗製濫造を事として、以て他國製品との競争に勝たうとするのである。それで俺達労働者には只無暗に稼げ働け、とばかり強要するのである。又其走狗である悪官吏や坊主に依頼して「稼げ、働け」とのみ俺達労働者に宣傳させるのである、ところが我々社會の事實として、働けば働く程損失をする世界の労働界は益々不安に襲はれるのである。只利する者は極めて少数の悪資本家のみである。昨年末の英國財政時報には「戰時に於る新工業勃興の結果、世界の生産力は、今日有史以來の最頂點に到達した。然るに其消費力は、民力困憊の為非常な低下を來してゐる。世界は今や著るしい生産過剰に陥つた」と記されてある。此夥しい生産品の捌口を何處に見出そうとするのであるか。資本主義的企業制度の下に在つては、何處にも其捌口が無いのである。これが解決の唯一の途は俺達労働者が、其生産機關を、悪企業家の手から奪ひ取り、労働者自身が生産機關を管理し、社會の需要に應じて、生産を調節するの一事にあるのみである。

然るに事實は如何。各國の悪資本家は、單に生産の増加を労働者に強ひ、労働時間を延長し、賃金を低下し、最小の費用によつて、最大の生産を得ん事を欲し、而して市場の暴利を占ようと考へてゐる

なここには吾々プロ黨には解散風は恐ろしく、ないが、失業風が絶ず吹く　芝居道の忠臣藏と同やうに、師走から如月にかけては流感と解散風と失業風とは御親類筋だ。

▽　△

二月だ。例年ならピユッピユッと吹き廻る關東平野の空ッ風が骨の髄までしみ透つてゐる頃だが、今年は何の風の吹き廻しか一月中旬といふのに春のやうだ、昨年の此頃は稀代の怪魔治安法が、憶面もなく白晝日比谷邊りに出没した頃だ。今年はまた河岸をかへて「暴力取締法」とお出でなさらうとしてゐる。借問す！ワカ槻内相かウソ槻内相か知らないが、淺草邊で大向かふをウナラせてゐる劔侠劇××黨とその乾分達の、勇壯活潑な暴力奨勵は（芝居のセリフぢやねえか）何とナアント。

▽　△

輿論を怖れ最近の無産者新聞、態度頓に一變す。さもあらん、多数のプロ機關紙中評議會の提灯を持ちしは無産者新聞ありしのみ。其殊勝さ

斯て生産が増加するに從て、彼等は其捌口の為に競爭する。遂には恐るべき國際戰爭を惹起せしめねば止まないのである。一九一四年の世界戰爭の原因は、まさしく此各國の生産過剩に在つたのである。今にして此惡夢より醒めなければ世界は再び恐るべき戰亂狀態に陷るであらう。

ところが日本の資本家と、官憲と、坊主と教員とは、未だ此惡夢より醒めない。そして俺達勞働者に、只働け、稼げとのみ勸めて、小數資本家の利益の爲に、多數の民衆を不幸と艱難とに放置しようとしてゐるのである。

我々民衆の生活の向上は、我々勞働者が之等利己的なる資本家と妥協せざる所に存在する。地主や坊主のお說敎に耳を貸さず、勞働者自身に團結して、資本家との階級鬪爭を續ける事によつてのみ、幾千萬民衆の生活の安定と向上とが齎されるのである。勞働者の爲めに、もつと高い賃金の要求、就業時間の短縮、これが當然主張すべきおれ達の權利である。而して最後に、おれ達勞働者が、生產そのものを調節し得るまで、鬪爭を續けなければならない。

何人にもあれおれ達の主張に反對するものは、おれ達の利益を蹂躙するものは、皆々人道の敵である。英國のボルドキン、米國のクーリッヂ、佛のパンルヴエ、獨逸のヒンデンブルグ、伊太利のムッソリニー、これらは皆々勞働者の敵である。

今や世界の勞働者は目醒めて、これら仇敵との妥協を避け、勞働者自身國際的に團結しようとしてゐる、そして此大なる世界的結束の力によつて、堂々と惡資本家と鬪爭しようとしてゐるのである。此時に當つて、此の世界の情勢を知らず、いつまでも勤儉貯畜といふが如き、古い寢言を繰返す我國の官公吏は、只偶像以外の何者でもない。

敎員よ默れ、坊主も默れ、巡査も默れ、偶像よ、線香臭い寢言などは止めてくれ。おれ達勞働者は、お前達の思想善導には飽き果ててゐる。

雜草的思想

野守信一郎

一

毎朝毎夕吾々の視聽を聳かす諸多の罪惡の何と夥しい事か。それ等の現象は今更のことではないといふであらう。然りそれは今更の事ではない、だが其れは尚よく吾々の耳目を新しく刺戟せずには置かない。それらの相追相次で現れる罪惡の凡てが、全く個々別々の新しく生々しいものあるが故である。

社會は久しきに亘つて、不景氣の暗雲が閉ぢ罩めてゐる。不景氣、不景氣、不景氣、それは何といふ重苦い酷烈な響を以て吾々の腸を寒く痛くえぐる事だらう。もう底が見えた〳〵といひながら、今以て不景氣の底は見えない。不安・焦燥・恐怖・苦悶、社會は恐ろしい飢の重石の下に血の呻吟を呻吟く

斯うした社會の中にあつて現在社會の組織の如何なるを知らず社會進化の可能を信ずる能はざる、而して自己の生活の開拓を自己一個の力に依つてのみ持ち來す事より外に考へさせ意識させなかつた永い間の支配階級社會の持ち來らした因襲的個人的な考へ方生活意識より外に有しない一般の人間が、外恐ろしき生活不安の黑雲に脅かされ、内諸多の慾望に苦められ、社會の一部に金が膨ゆく巾をきかしてゐる事實を見て、何事かを企み、何事かを爲さんとしないでゐられぬのは當然のことである 而して此の當然なる事がある者に、依つて社會の表面に現される時、其は他の同生活に脅かされ其不安焦燥よりして無形有形の漠然たる社會に對する不平怨恨憎惡を抱ける者にとつて恰好な機縁となり、他の罪惡の遂行を促さずには置かない、斯て諸多の罪惡は亂舞する。

此れ等罪惡の亂舞に驚き注

を擲すべし。

△▽

一派の革命家を以て任じ共產黨のお先棒を擔ぐものに、學生社會科學聯合會なるものあり、此自稱先驅者、一晚の拘留に震え上らずんば至幸

△▽

去る人評議會を目して帝國主義的組合と稱す。けに至言といふべし

△▽

共產ロシヤ遂に株式取引所を公認す。ロシヤを擔ぐに日も是足らざる日本共產黨の釋明を聞きたし

△▽

日本新聞麗々しく記して曰ふ「評議會系の勞働運動社云々」と。其徹底せる與太記事には亞然として口が塞げず。

△▽

反動軍閥の巨魁張作霖下野說傳はり東洋の某國俄然狼狽す。郭松齡虐殺の恨み永久に祟るなり。

目せる一ブルジョア新聞の徒は、新聞の一機能たる報導により罪惡が誘發されるといふ世間の非難のあられもなきことを說き、新聞の報導は此れ等罪惡の報導によりその病源の所在を一般をして感知せしめる機會を與へるものであるとし、當局の此れら罪の刑罰によつてのみする抑制を難じ刑罰による抑制の不可能なることを述べ、罪惡發生に先立つて其原因に溯り、より大なる政治問題としてその防止の可能なる事を說き、而して此れを現在の社會に於て現在の政治家に訴へて解決しようとしてゐる。定に吾々は諸多の罪惡の新聞の報導によつてのみ誘發されるとは思はない。而して又吾々も此等の罪の防止がより大なる政治問題として其原因の除去する事によつてのみ行はれると云ふ事に異論ない。がしかし彼等が信ずる如く現在の社會に於て現在の政治家によつて社會政策的手段によつて其れが解決されるなどとは、いふ迄もなく吾々は考へない。

二

吾々はまた現下の社會に於て斯うした盛んなる罪惡の亂舞と共に、一部智識者の間に蔓延する雜草的思想の繁茂に花ざかりの雜草的思想の滿開を見る。

雜草的思想とは何であるか。

それは、ニヒ、タグ、スチル等の思想的傾向を引いた、一般頽敗的思想の謂ひである。

それは如何なるものか、如何にして發生し、醸成せられ蔓延してゐるか。それらは要するに矢張現在の社會狀態によつて發生し、醸成せられ、蔓延してゐるものであることは云ふまでもない。がしかし吾々はそれらの傾向にある個々のものが、凡て其過程に於て、同一なる直接的具體的動因より入つたものであるといふのではない。其れ等は皆それぞれ違つた個人的な直接的な動因を有つて居るであらう。彼等の中には、文學的浪漫主義や人道主義から入つて來たものもあるだらう、又アナキーから入つて來た者もあるだらうが彼等が一般に智識者である事は同一である。

ヨーロッパ大戰の終末期より其二三年はロシヤ革命の波紋によつて、層刺戟せられて世界全體に亘る赤色興奮時代であつた。そしてもとより日本も之より免かれる事は出來なかつた。其赤色興奮時代にあつては、今にも新しき自由平等正義の眞の人間生活が展開され、眞の人間文化の至高至純なる花が咲き出しさうに思はれた。そして其れが一部智識者間には殊にさうであつた。が其後間もなく世界資本主義經濟の沒落過程に入つた、經濟界の大恐慌を背景として反動時代が到來し、以前にも增した堪えられない惡生活が現出するに至つた。

こゝに於て、其等智識者間に咲いた華かな輝かしい幻想の花は、慘めにも秋空の朝照りの如く一時パッと輝いただけで凋落せざるを得なかつた。彼等は人間生活に對する明るい望みを失つた、すつかり絕望した。革命に幻滅し、自分等が考へたやうな世界は到底人間社會に求められざるを考へた彼等は、最早其求められざる心を持つて、再び資本主義沒落過程の不景氣と反動の惡現實社會の中に其生活をなさねばならぬ運命となつた。

現實の社會は彼等にとつて惡社會であるがさりとて何處にも其自分等の求めるやうな世界を見出す望みもない、革命によつても此の現實惡社會の一變化より外には得られない人間社會、人生は要するにかふした永遠に惡社會生活の變化連續に過ない。かくして吾々が現下の社會に見るやうな彼等の苦悶と絕望の影深い末梢神經の分裂的頽廢的思想が發生した永遠に惡社會生活の變化連續たる人生にあつて、彼等にとつて唯一の城塁たるものは自我である。故に彼等は恐くて自我の禮讃者であり、自我の偏執狂である。彼等にとつて自我は絕對的に自由でありしかして彼等はこの自我の絕對的自由追求する

彼等は此の自我を唯一の城塁として、求められざる欲求を人生に求めながら、しかも尚この唯一者自我の欲求するものを未來にではなく現生活の瞬間々々に欲求し追求するのだと稱して、末梢神經分裂的に頽廢的に流動し、生活ゝ死の舞踏にのたうち廻る。

自然の雜草は冬枯時が來れば自然に凋落する、がこの雜草的思想は社會の冬枯の深くなると共に、益々智識者間に醸成せられ蔓延し繁茂して行くだらう事態を、吾々は現下の我が國の社會に見る。

哲學者と云ふ人間が大自然の千變萬化する現象の本體が何であるかに惱む如く、所謂問題を憂ふる識者はかうした社會の現象の本體が何であるかと惱んで居る。

だが、吾々の社會は大自然と共に無數の種々な現象を其の中に含めて、其當然向かふべき方向に向かつて其過程を踏んで行く。(完)

進め社便り

奴隷思想

運動資金を貰つてそれが爲め日本の社會主義運動を、ロシャの命ずるまゝに動かしめんとするが如きは、吾人の斷じてとらざる所なり。

眞個の社會主義者は萬人の幸福を目あてにするものにして。唯だ一ロシャの命ずる所に動くものにあらず。我等は全無産階級をして全人類の爲めの社會を地上に建設せんと欲す

最近日本では金を貰つてロシャの命令の儘に動かんとする下劣極まる日本共産黨の跋扈跳梁を見る。金で動く思想まで賣る、節操も賣る、日本の主義者は墮落した。

我が進め社に集まる無産階級の鬪士はロシャの命令に依つて日本無産階級を賣る彼の日本共産黨を徹底的に撲滅し新共産主義を起こさんとするものである。(福田)

準備は出來たぞ

池袋の奥に穴籠りして、時時「進め社」の召集令を受て來て見ると、進め社内の空氣は緊張してゐて羨ましい程だ、特に舊冬、組織を新たにして以來、意氣益々盛んに猛氣衝天の慨がある。立山山中に熊と相撲した谷口は、兵營に去つたが、そのかはり北山平次だとか近藤勇二だとかの劍俠劇の立役者になりさうな、凄い所も居れば、松里茂のやうな洒落た所もゐる。實に「進め社」は鬪士の顔を揃へて、白熱的奮鬪の準備はスッカリ出來上つた。切に全日本無産階級諸鬪士の鞭韃と後援を待つ(山川)

噫！血の記念日

今日一月十五日は我等無産階級の一日だも忘る能はざる獨逸革命運動の急先烽、リープクネヒトとルクセンブルグが憎むべき軍閥の爲め慘忍なる銃劍の下に虐殺されたる血の紀念日である、

反軍國主義運動の第一人者として、議會に獅子吼し、街頭に絶叫し、彼の一月革命の混亂裡に、無産階級解放戰線の前衛を努めつゝあつた彼等兩人の偉大なる功績は、其の名と共に永久に光彩を放つてゐる。

編輯に疲れたる頭を休めつゝ、長き恨みを呑んで倒れた當時の兩人を偲び轉た無量の感慨に堪えない。(松山)

進め社忘年會

舊臘十三日、神田カフエーブラジルに於て進め社及びマルクス研究會の大忘年會並びに僚友谷口直平君の入營送別會を開催した。

會する者五十有餘名、學者思想家、組合運動家、勞働者學生等何れもアンチ日本共産黨の猛者ばかり、中に紅四點の婦人も加はり、燃々として眞赤に燒けたストーブを前にして、テーブルスピーチに移るや、各自交々起つて、解放運動攪亂の常習犯、紳商の巣窟日本共産黨撲滅に熱火の辯を吐き、大逆問題に對する責任者の糺彈を絶叫した。終つて後尚も談論風發、ゴシップ氣焔等の盡くる所を知らず、和氣靄々と相互の友情を温め深更に及んで散會した(物部)

氣運

言論は我等にあつて、只單に空想の前に散らさる、が如き火花ではない。何故かなれば我等に於ては行動！即ち理論であり理論！即ち行動であるからである。

従つて理論は我等の仕事の全部ではない。然り全部ではないのみならず、夫は行動の結果から得らるべき所産の一つであるに過ぎない

×

先に金澤工兵隊第一中隊四に入營したる同志谷口直平君は目下考へる所あつてか宣誓拒絶の行爲に出でつゝある。吾等は谷口君の事情に附いては號を改めて語るであらう。

×

本年度に入りて「進め社」は多年の懸案たりし諸問題の具体化に努め、着々その準備を整へるが爲めに、同人は總出で東奔西走、日も尚足らずと云ふ活動をなしつゝある。

ここに福田は持つて生れた強者、權力に對する反逆熱と、それに向つての猪突的勇氣に更に一鞭すべきを吾等に宣言し、在來研究室に六分納つてゐた石川兄は旗を陣頭に樹つべきを誓ひつつある。ここは吾等の喜びにたへない所である。(忍)

大阪通信

■大阪進め社でも、近々數十種のパンフレットを發行して大いに活躍する積りである。諸兄の後援をたのむ

■社には銃劍術、槍(寶藏院流の達人福田氏を筆頭に柔道四段劍道二段の奥野君、それに日本無産青年同盟の鬪士で、二年の兵役を一年で歸つて來た山本君や、相撲にかけては栃木山も、三度が三度負けると云ふ、大力無雙の加藤君(但し栃木山と少年時代)流球の産で空手一つで、瓦二十枚重ねて割ると云ふ、猛勇無雙の平野君や、朝鮮白頭山麓で虎と組打ちして、見事勝利を得たと云ふ、孫逸風君や、一度の食事に一升五合の飯を平氣で食つて行くと云ふ、石橋君、頭押しにかけては、天下廣しと云へども右に出るものゝないと云ふ、石頭の所有者岩村君と、僕と都合九人で其の内、僕が一番優美な男であるが力はダメだが魂だけはしつかりしていると、自信している。(安遂)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

全土戰報

愛知縣

勞働の奉仕は御免
無產青年の意氣

思想的に幼稚な愛知縣尾張郡の無產青年も、漸次的に自己の立場を認識し、無批判に盲從した勞働の奉仕を拒絕した痛快事がある、それは田舍の青年會に持有な役割仕事の一つである、道路の修繕と溝渠の堀鑿が、毎年春秋二回、各字の青年會員に與へられた自己の職業を棄てゝ迄も、自辨當持參で無理强された、勞働の奉仕が、懐手の地主を益々肥さらしてゐたものだ。それが一人二人と雜誌や新聞を讀むやうになり、又は講演會にも行くようになつたりして智識の啓められると共に階級を十二分に知ると、今迄の勞働の奉仕が全く美名につられてゐたと言ふことが分つたのだ。なる程、田舍の畔徑や小溝は農夫それ自身に修繕を爲し、又は堀鑿を爲さなければならないが、土地が地主のものである以上、地主も應分にそれを爲すのが至當である、それを、のらくら茶喫み相手に將棋など打つて無爲徒食の日を送つてゐるのである。それに、町村會ではうまく村民をごまかし利權をあさるので不平のほつほつ高まる折柄、所轄署の强請?で公設消防を設けるなど——之も直接警察に消るは無產青年で、けふは演習の下習へだなどと日を潰すこと許多く、途に多年無理强された道路の修繕と溝渠の堀鑿は、日傭賃の出費なき以上は取りとめることゝなつた。之では春秋の收穫に何かと闘爭が起るので今回、地主階級から青年會へ事業基金の寄附と、地主も同樣に勞働の奉仕を爲すことゝなり芽出度兇が紛いたが、これは階級戰線初期の運動で今後益々深刻に局面の轉化してゆくことゝであらうと信ずる・偶像をたゝき壞せ——農村無產青年が斷て漸進的に向上してこそ、田園文化の黎明は訪れるのだ・

（大和久雄）

福島縣

日本の無產階級よ
褌を締めなほせ

「進め」十二月號本日落手しました改版されてから始めてなので大變驚かされた程です、大馬力をかけての編輯振は感謝の至りです……中略……何しろ僕も十一月一日から大演習參加の爲め十月一杯若松歩兵第二十九聯隊に召集され今月五日に漸く歸宅した樣な譯で遂に本部の方にも無沙汰した譯であります……中略……日本の社會運動が勞働運動が最も重大な時機に於て現在のこの危險な情勢は本當の日本の無產階級がしつかりと褌をしめなほさなければならぬと思ひます。共產主義の冒瀆者たる日本共產黨の犬共は一日も早く日本の社會運動から葬り去らなければなりません、そして一時一刻も早く吾々の國に眞に無產階級解放の曙光の、見え初る日の來る事に努力しなければなりません、それこそ僕達日本の無產者全體の責任であると思ひます、（福島縣伊達郡鈴木金悟）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

石川縣

入營せんとして

入營期日の間近に迫つた此頃再び「進め」七月號、福田氏の「入營せんとする青年に與ふ」について考へる　福田氏は兵役の一年や一年半は諸君が假令郷里にあつても大したことは出來ないと言ふのである。成る程全くそうかも知れない然し入營せんとする青年の惱みは軍隊に行くといふこと其のことよりも軍隊内にあつて如何にして行動するかゞ問題である、其意味に於て（尤もあの文は其大半は抹消されて確實な意はわからなかつた）が現在差し當つた私としてあの文を考へる時、その事より最初にそして重大に考へねばならぬことの多くあるを遺憾とする。

二ケ年の軍事教育によりて我等の思想に變化を來すおそれは決してない、而してまたそんな弱者もなからう、だが我等どこまでその軍隊に服從して行けるかは疑問である、反逆の血は高鳴り思想的良心に苦める、時、我等は果して軍人として無事二ケ年間を務め上ることが出來やうか、それが解らないのである。それが入營せんとする者の深く憂慮する所である。

次に私の如き一家の主權となり米箱となりて働いてる者が軍隊へ行くといふことである、殘された老母や母は如何にして喰つて行くか肉身の者の餓死するかも知れないといふ悲慘な家庭に於て一番先の兄である者が入營するのだ。世間の言の生優しい貧乏生活ではないのだ、考へれば又熱したる涙が頬を流れるのみである、私は行動を尊ぶと言ふ事が如何に理想的に遠大なりといへども要するに行動するに非ずんば何の價値あるか。唯單に軍隊に進んで行けとは餘りではないだらうか、我は軍隊で○○することよりも軍隊△△することに依つて主義に忠實なものとする

（堀川正智）

附記

堀川君同く入營せんとする私から――貴兄がかなり彼の文を間違つてゐはしないでせうか。（勿論あの文章の大半は抹殺されてゐたために誰が讀んだ所で殆んど意味が探れなかつただらうと思ひますが）要するに問題は我々は軍隊を如何に見るかと云ふことがあつたと思ひます、それは勿論プロレタリヤにとつて第一に貧なる中から血税を納めることは至大な苦痛であり、戰爭は非常な野蠻的な非道德的な行爲であり、殊に近代の資本主義的戰爭に依つてプロレタリヤは何ものをも惠まれず、最後に軍隊教育は我々の主義とは正反對であるといふ意味に於ては我々は一齊に反對してゐるはづだと思ひますしかしそれを如何にせば滅亡させ得るかの問題を眞面目に考ふべきだと思ひます、毒を制するには毒を以て制せよ！と福田氏の意見はおそらく此處にあつたらうと思ふ。軍隊も無産階級のものとしなければ到底駄目だ　軍隊を我ものとするには軍隊に最も近づかなくてはならない。貴兄の云ふ實際行動と云ふことも窮極は此處に行くのではないでせうか。俺はあれに反對だからと云つて逃げてしまふのでは何にもならないではないでせうか。反對だから反對なるものをやつつけてしまはなくてはならない、それが反逆者の使命であると思ふ　現在では政府と軍隊は今の不可抗力である故に我等は之に明確なる意識を以て潜入すべきだと思ふ　唯貧しい家庭は悲慘の儘だ。但それは被搾取者の存する限り何れの社會に於ても、だからこそ！　堀川君と都合による近い兵營に廻されるかも知れない同九師團だから兎に角兄の健鬪を祈る

（入營一ケ月前谷口生）

台灣

起てよ無産者

資本主義の餌食と成つてから台灣無産階級は三十年の間を苦痛と赤貧を背に負ひ呻吟を乾んばかりの口にしながら○○○の歴史を綴つて來た、その報ひとして我等無産階級はあるかぎりの○を資本階級に○○○○○その上に官憲は

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

極度の壓迫を我等の頭上に投下して居るその中を我等は始終○○或ひは投獄の威赫の下に奴等の鐵鎖につながれてゐるのだ。しかしそれも我等を威赫するには足りない、禁じ得ない血の沸騰は隙のある毎に我等を苦戰の繼續に導く。

竹林事件も今度の蔗農事件も血の出る様な搾取を物語るではないか、我等無産階級の苦痛を明かに示すではないか！幾かの生産を生命の頼りとする竹林を強奪され刈取つて後一言の抗議も云へず賣價を强定されたりして我等は○○○○等に奪取されてゐるのだ一言でも不平を鳴らしたら鞭韃の苦は云はないにしても獄屋は免がれぬ幾多の兄弟も今度の蔗農事件で獄屋生活をして居るのだ。お可笑しいことには御用新聞の紙屑屋さんまでも土匪取締令とか吹き鳴らして火事騷ぎをする。こゝに於て我等は知らなければならぬ奴等の搾取は必然の結果だたとへ戰はないにしても我等の自然地位は我等をして戰はずを得させない。

兄弟！土地も工場も權利も我等のものだ、ほろ法律で出來たその○○○○○○○せば完全に我等の公有物だ最後に兄弟に告ぐ實力的團結をせよ！利用階級を○○○○○○

（S生）

長野縣

新しき現實の前に——
生るべき政黨は生れん

全國的單一政黨の名の下に幾多の險(？)をおかしつゝ漸く生れた農民勞働黨が結黨後三時間の薄命を以て哀れな屍骸をブルジョア新聞の第一頁にさらしたブルジョア新聞の發表したあの嘲笑的な記事にはそして其内容の何れにもせよ、無産階級としての最初の政黨が苦もなく當局の爲に投飛ばされた現實を目前に、幾分の氣落と憤慨とは禁じ得なかつた。尠くともあの急な政府の禁止命令は一般人の期待を見事に打破つた點に於ては政府當局の普選及び無産階級の政治運動に對する態度を鮮明に證據立てたものである。我々は再び考へなければならない時である。政府が與つた普選とは治安維持法の鎖をつけた處の、即ち命令者たる彼等が許して彼等自身一寸の苦痛もなき程に限定せられたるものである。それは何れの國の權力者間に於ても然りである。まして資本主義萬歲の中に現在の日本政府が與つた處の普選、それがあの程度の政黨で禁止に逼ふことの無理からぬ當然であつたとは後の今で深く考へることである。そしてまた新聞紙の報ずる如く共産黨の背景云々に至つて再びなる程と思はざるを得ない我々は茲に新に現實に直面して新なる行動に出づべき時に迫られた。遠いそして無智者の多い田舍のことだから、中央の運動の流れもよくわからず、政治研究會などにすら入れなくて、空しい腕をながめてゐたが、茲に今後、此の現實に直面して深く思ひ當る處あり、我々當地の同志若干は新しい方面に運動を開始すべく、直にその準備に取りかゝつた。

今まで中央運動の本流を知れ。政治研究會に入らなくては無産政黨が出來ない。そしてそれ等と共に本當に行動しなくては嘘である。そう多くの人達から餘りに多くから聞かされ、それに過信、依賴しすぎた我々の結果のみじめさを我々は今知つたのだ。それ等のすべては現在の田舍の我々には無理な注文であつたのだ、田舍の運動と都會の運動とは違つてゐた。我々は都會の運動の正体を左まで知らなかつた。我々の田舍には我々にそして我々の地に最も必要なる而して可能なる唯一の我々の運動があつたのだ、我々は再び目覺めねばならなかつた。新しい現實の前に——滅ぶべきものは滅ぼしめよ、次に生るべき新しきものはより可能で、更に必要缺くべからざるものがあるのだ。農民勞働黨は禁止された。禁止さるべく現在のブルジョアチーは其必要に逼られてゐたのだ次には我々にせつぱつまつた新しき無産黨の要求があるのだ。そして其可能を我々の將來は多分に持つてゐるのだ更に我々は確信する次に生るべき無産政黨は唯單なる一個の農民勞働黨の存在でなくて

眞に我々のものであるべきを我が地方には我が地方の無產者に必要なる政策のみ眞に可能であるのだ。我々は今後此方面に全力をあけて活動すべく深く現實の前に教られた。徒な大義名分は決して決して全無產階級を解放しはしないと云ふことを私は斷言したい。本當に現實の無產階級が要求してゐるもの、そのものゝみが全無產階級を解放するものだと云ふことを、我々はモツトーとして今後進むべきである。

信州の一隅に我々はこうした運動を起さんとして、動きはじめた、全國の各地にもこうした眞の運動が遠からず起されねばならないことを我々は豫感する、全國そうなつてこそ我々ははじめて全國の同志よと呼ばるべきものであると思ふ。(杉山吉次)

朝鮮

昨年に於る朝鮮解放運動

昨年內の朝鮮解放運動は別に新しい運動も起らなく、又大した進展をも示さなかつたこれを獨立運動の初期や社會主義運動の初期の大活躍時に比する時には、全く火の消えたやうな靜けさであつた。これにはいろ／＼な原因をあげることが出來るが、あまり今までの運動が理論に走り過ぎた結果、行つまりが來たのが最大の原因である。それに日露の國交恢復と、ロシアの東極に對する宣傳方針の變更と、日本の無產階級が社會主義運動に入つたのと、治安維持法の亂用と、下岡政務總監の政策案が原因をなして、豫想外に不振であつた朝鮮民衆を激亢せしむべき何等の突發事件も起らなかつたことも、不振の原因の一つであつた。けれごもこは表面にあらはれた外形的運動についての事であつて、內部的運動に至つては、七八月の水災があつたために非常な發展を遂げた、金融の乏迫と生活の不安のために、社會主義思想は加速度的に全民衆を支配するに至つた純民族思想はます／＼靑年子弟の腦裡から、過激な社會的××思想へとかはつていつた。

そして外部からの迫害の日甚と、理論的運動の行つまりの當然の結果として、實際的實質運動が、その曙光をあらはした。農民組合の出現と朝鮮靑年總同盟が農民運動に入つたといふことは、確にこの邊の消息をもたらすものである。最も以前にも小作人組合や勞働組合があつたにはあつたが、それは理論運動の宣傳の一方法としての實際的な運動ではあつたけれども、朝鮮解放のための實質運動ではなかつたこの實質運動を促成せしめたのは、下岡政務總監の產業政策が預かつて力があつた。

米國その他の外國に散在する朝鮮獨立運動者たちは、今もなほ民族的獨立による朝鮮共和國を夢想して、思想的にも何等の變化なく、平凡に一年間をすごした。そして彼等は現在でも、米國其他の外國の力による文治的獨立方策を固執してゐる。

滿洲、上海、露領等地に根據を有する各朝鮮獨立團体や共產主義團体は、昨年も武力による朝鮮解放運動を續け來たのではあるが、日露條約と在滿朝鮮人取締のための總督府との新條約が滿洲にしかれたために、その活動に非常な支障を來たした。けれども武裝團の國境侵入は既定の方針通りに行はれた。

そしてしば／＼警官隊や軍隊と衝突した。けれどもあまりはか／＼しくなく、努力的であつた國境警備の充實とともに、以後益々こうした小決死隊の侵入は困難だと思ふ。昨年は丁度朝鮮獨立決行事項が改正された年でもあつたが滿洲における武力運動もあまり大した結果をもたらさなかつた。又何等新運動も起らなかつた。張作霖沒落以後が見物であらう。

朝鮮內の朝鮮解放運動はこれを民族主義運動と社會主義運動と參政權運動の三つに大別して話すことにする。

民族的獨立運動は宗教運動に教育運動に產業獎勵運動等に、非常に手廣く行はれてゐるが、年々社會主義運動化されて、昨年の如きは如何にせば社會主義運動と自分等の運

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

動この間に一致點を見出だすべきかに苦心した。けれごも階級鬪爭が激烈なために、却つて總督府こ妥協しなければならぬ狀態にまで陷つた。故に彼等は民衆より孤立するの憂き目にあつた。それほご彼等の運動は行つまつた。それで彼等は自分等の生道を朝鮮議會主義運動に見出さうこする氣配を示してゐる。

社會主義運動にありては、無政府主義運動は全く根滅されて、獄中に居る者の外は、有力な主義者も殆んごないけれごも、朝鮮の民族性こ、境遇は最もこの主義に感染され易い地位にある。

共產主義運動は全鮮にわたつて全民衆を支配してゐるも指導者間の三派分立はますます堅固な障壁を築いて、地盤的に根を下ろし、昨年も公然切崩し運動こ防壓運動こが起り、流血の慘をまでも見た。金若水一派は非常に宣傳が上手で、策略にたけ、奇計に勝金鐘建一派は有識で有產階級及び智識階級に根をはつて居るも、何れも素朴な主義一點ばりに頑固一步も動かないソウル青年會一派には、全く齒がたたない。ソウル青年會は全鮮を地盤として、朝鮮青年總同盟を通じて十萬近くの會員を有し、最も古き歷史をもつて、總督府とも民族主義者こも妥協せず全く對峙してゐる。これに比すると金若水一派は權謀術數に富んでゐ、金鐘建一派は民族主義と背景的勢力を共にしてゐるが何等實力を有してゐない。火曜會は一の運動團体であるといふよりも、單なる思想團体である金若水一派の北風會は今は地方的にはあまり大した地盤を有してゐないが勞働總同盟中の自派分子と新興青年會とを利用して、昨年一年中の仕事は殆んど宣傳と勢力盛返し運動と、水害救濟運動に沒頭した觀がある。

ソウル青年會は民衆圖書館の創立、婦女子及び勞働者の教育の爲の學院事業の擴張青年總同盟を通じて民衆の團結勞働組合、小作組合、全國各青年會等の統一糾合、農民運動の諸施設各種爭議の援助等前年に劣らぬ活躍を續けた。そして今までの思想運動を實質運動に進めた。飽までも朝鮮の解放運動は朝鮮人自分等の自覺こ自力によらうこする決心を示してゐる。

しかし共產主義運動も滿洲の武力運動こ提携するか、政治運動に新路を見出すにあらざれば、早晚行きつまるべき形勢が昨年から非常に見えて來た。

日本に普選がいよ〳〵實施されるやうになり、又各殖民地へも早晚何等かの方法によつて、政治に參與せしめるここがほゞ明白になつて來たので、從來から參政權運動をやつてゐた國民協會は勿論のここ、他の親日派各團体も皆政治運動に乘りだすべく用意しはじめた。そして國民協會部內では從來にない內爭が起つた。それは日本こ朝鮮この現在の關係を飽までも維持せうこする一派こ、朝鮮國民議會を通じて、朝鮮獨立を圖らうこする一派こが、互に對峙してもみあつて居る。

日本に來て居る民族主義獨立運動者たちは、宗教關係以外に從來から何等特別の主義を有して居なく、又眼ざましい活動もなかつた　社會主義者の尻ふきをしたりして無駄骨をばかり折つて居たが、昨年も相變らず無駄骨をばかり折つた。

東京に於る共產主義運動は活躍したほごに何等大した收穫を得ることができなかつた無政府主義者は運動戰線から影をかくした。大阪にありては昨年は無政府主義運動が全盛を極めた、しかしそこも大した收穫はなかつた。

（鄭然圭）

●●●●●●●

全土戰報係より全土戰報は名の如く、眞に全國の無產階級の生活苦こ階級鬪爭この如實な記事でありたいこ希望する。同時にその戰術上の相互硏究の爲に役立つものでもありたい。寄稿家諸士も其お積で、ドシドシ通信を下さい。但成るべく短くて緊張した記事を希望します。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

第三黨と批評の必要

鈴木厚

一

個人の生活についてと同樣に社會運動にとつても嚴正なる批評が必要である。個人生活に於て批評のなき場合よ、その人間はおべつか者で追從者である、今日は西明日は東と浮草の如き動搖をなす者であつて、何等の根底を有せず獨立的確固たる力を有せざるものである 社會運動に於ても亦嚴正なる批評のなき場合は、徒に理論に走り徒に喧騷を極め何等運動としての實際的な力を有するには至らない。

元來日本の智識階級の間の通癖として我々は此批評的精神を缺いてゐると思はれる。歐洲の優れた社會學者、哲學者、文學者その他種々なる人物と其思想とが少からず紹介されたと思はれるが、それらのものは何れも甚だ短き生命を克ち得たに過なかつた。紹介する人もたゞ單に何等批評なくして、紹介するのであつて、又民衆も何等批評なくして其を受入るが故に、それらの者は單に一時的歡迎を受たに過なかつたのである。斯の如きは我國の思想界に於る批評なき一の證據であるが之と同樣なことは、他の方面の社會生活に於ても屢見られるのである特にそれが最も手近な問題であるだけに社會運動に於る無批判が。私共の眼に映ずるのである。

大阪に於る聯合派と總同盟派との分裂に就いても、共產黨事件に就いても、評議會と總同盟との分裂に就いても、近くは今回の無產政黨諸問題に就いても、當事者同志の賣言葉買言葉即ち偏見に充たる論爭以外には、乃至は狡猾なる自己辯護と惡辣なる讒謗以外には毫も公平無私なる眞に無產階級の利益を目標とするやうな嚴正批評は見られなかつた。從つて其結果がどうなるかと云へば常に正邪・是非曲直は明かにされないのである。「勝てば官軍、負れば賊軍」といふ譬へ通りに優勢らしきものが正いものとされた感が少くなかつた。而して其ことは不幸にも無產階級をして深く迷路に導いたのであつた。これは專ら社會運動上の批評的精神の欠乏の結果であつて今日に尙及んでゐる疾患である。

二

マルクスを信奉し、レーニンを尊崇してゐる人々の中に彼等の說を一から十まで金科玉條の如くに守らうとする者がある。而してその種の人間は、マルクス及びレーニンに對し何等か批評的態度を取ることを殆かも宗徒が神に對して冒瀆を犯すと等しく見做してゐる。成る程、マルクスは偉大であるレーニンも亦偉大である。我々と雖も此れ等先覺者に對する尊敬の念を惜む者ではない。然しながら、マルクスもレーニンも共に說けるが如く、宇宙の森羅萬象は一として絕對なるものはない、如何なるものと雖も日々に進化し流轉しつゝあるのである。が逆に彼等の偉大なる敎議に對しても、その理屈は適用し得るのである。されば我々はマルクスから一步出で、又レーニンから一步出でなければ眞に現實社會の實情に立脚なしてゐるとは云はない筈である。一步出づるとは、換言すれば彼等の敎議に對してさへも尙且嚴正である批評的精神を以て對すべきであるといふことに外ならない、斯してこそ始めて社會主義運動も空理空論から脫がれ民衆に近づき得るのである。

我々は科學的社會主義といふ言葉を屢聞いてゐる。科學的社會主義とは、空想的社會主義に對して、特に用ひられた言葉である。然し乍ら、果して日本に於ては科學的社會主義が科學的社會主義であつたか？事實又現在もさうであるか？或人は、科學的社會主義は日本に於て立派に科學的社會主義であつたと答るかも知れない。然しながら我々は民衆にそれを對ねる時最も公平なる答を得られるであらう。或は前者の言葉が自己辯護に過ずして、事實としては科學的社會主義が空想的社會主義であつたといふ答を得るかも知れない。何等嚴正なる批評のないところに、科學的なるものゝ存在する筈はない

三

近頃、僕はある人から社會運動の內部に第三黨が組織されるといふことを聞いた。その第三黨組織の運動がどの程度迄進行してゐるのか、詳しいことは自分は知らない。或はそれは風聞に終るかも知れない。しかしながらもしそれが成立つとするならば、何れの黨派にも屬せざる中間的組合と中間的社會主義者との團結に依るものであらう。何れにもせよ今日批評なき社會運動上に於て、その種のものが生ずるといふことは甚だ望ましきことである。第三黨の存在は、少くとも批評的精神の具現である。何故かなれば、嚴正なる批評は第三黨によつてのみ行はれるからである。たとへばAとBが喧嘩したとせよ。AはBを惡口する。B

はＡを罵倒するに相違ない。何れが正しきかといふことは、第三のＣによつてのみ裁斷され得るからである。機關雜誌新聞等に於て第一第二の黨派のいづれにも屬せざる人間が兩者の葛藤を單に紙の上で嚴正批判を下すこともよいが、第三黨の成立存在は尙一層有効なるものとなるであらうと思はれる。この意味からして何れの黨派にも屬せざる人々は、皆黨派爭ひの爲に少からず混亂せしめられてゐる全無產階級の利益の爲に、第三黨が成立するとするならば恐らくそれに所屬するであらう。第三黨成立に努力する人々は大いに意を強くするに足る。

資本主義と無產者の歷史的任務

松山政雄

近代資本主義は僅々二世紀を出でずして、既に發展すべき所まで發展し、今や其最高階段に達した。

次に來るべき社會主義社會に至る過渡期に於るプロレタリアートには歷史的に負はされたる一つの重大なる任務がある。

此の任務遂行の危機を前にして、沒落に瀕せる資本主義國家は、本質的な飽なき侵略欲と、支配欲より必然的に、帝國主義――世界的市場の爭奪、軍備の擴張等――政策を執り最後まで勢力の伸張に全力を傾注する。而して今や全世界の資本主義國家は自國擁護及び勢力擴張の手段として此の侵略主義的帝國主義政策に出で、相互の鬪爭に依つて自己階級の滅亡を、より早からしめて居る。

資本主義發達の一階程として必然的に到達すべき帝國主義は、資本の聚積、移殖、生產の擴張等を以て其本質とする。

近代資本主義的生產樣式下に於る商品の自由競爭は、必然的に資本の聚積を齎らし、企業家の聯合團体――カルテル、シンヂゲート――等の發生を促進し、殆んど凡ての生產は漸次大企業の下に統制される。故に既に企業しつゝあつた小規模な資本家又は、新に企業せんとするものは、カルテル、若しくばシンジゲートと對持し得るだけの大資本を要するのみならず、又生產したる商品の需要をも求めなければならないのである。斯かる事は小資本の企業家としては到底不可能な事に屬する爲、遂に其企業は中斷せざるを得なくなる。

斯の如くにして從來の小規模な企業は、漸次カルテル、シンジゲートの爲に驅逐壓倒せられ、個々別々に分散されてゐた資本が益々小さな範圍に向かつて聚積される。斯て富は小資本家より大資本家へ小企業より大企業へと益々聚積される。

併しながら一國內に於て聚積されたる資本が膨張すればする程、それに比例して過剩を來たすので勢ひ、資本主義國家は其過剩資本を何等かの方法に依つて運用すべき必要に迫られる。

されど國內の需要を充たし尙且斯の如く過剩資本を生むの現象を見る時こそは、明かに其資本主義國家の經濟的行詰まりを示すものであつて、資本主義は既に發達の最高階段に達した實證的現象である。茲に於て乎、自國內の經濟的行き詰まりに當面した資本主義國家は最後の猛威を揮ふべく帝國主義化し、自國內に於ける所の過剩資本を海外――主として後進國家（例へば支那、印度等）――に移殖、放下せんとして茲に侵略主義的政策に着手するのである。

そして斯かる後進國家に於ける生產方法は、近代的な資本主義的生產方法の侵潤を見ず、未だ極めて封建的な手工業的なものであり、且又、土地、勞銀等も廉價なるが故に過剩資本を移殖して企業を始むれば、遙に高率の利潤を比較的容易に擧得る事が出來るので、各先進資本主義國家が競つて此の種の未開國に向かつて過剩資本の移殖を計るのである。英國の如きは今より半世紀以前に早くも斯かる時代に到達し、世界諸國に向かつて其資本を移殖し、莫大なる利潤を得、每年巨額の輸入超過を示しつゝあつた。されば久しき間世界の資本市場は殆んど英國の獨占に歸してゐたのである。

資本主義初期の發達行程に於ては商品の海外輸出に全力を擧げつゝあつた各國資本主義國家は、今や資本の海外輸出に覇を爭ひつゝある。此の競爭が激烈となつた結果が國際戰爭である。

支那に於ける列强資本主義國家の市場及び土地爭奪戰の如きは、侵略主義的帝國主義の本質を最も遺憾なく現したものであり、今後益々激烈に鬪爭すると共に、愈々深刻に國際的民族的搾取の魔手を擴

大するであらう。

それと同時に虎視耽々たる烈强の民族的搾取の餌食に擬せられつ丶ある支那國民の此の侵略に對する反逆も、烈强間の鬪の深刻化に連て愈猛烈に昂じるであらう。

其他殖民政策に依る侵略等も資本主義發達行程に於ける避くべからざる必然的現象である。

前述の如く全世界の資本主義國家は最後の攻勢手段として、一切を擧て帝國主義化し主として資本の移殖、殖民政策等に依つて、利潤擴張の爲全力を傾倒し、相互に必死の鬪爭を續けつ丶ある。

今日迄此の間の消息を知るに鈍なりし民衆は、帝國主義國家の手先となり、同胞侵略の先驅を努めつ丶ありしが、其蒙は遂に啓かれた。

レーニンは其著「帝國主義」に於ていふ「帝國主義は要するに資本主義の發展階段及び繼續として發生した。資本主義の基礎的內部に動搖を生じ資本主義から社會主義への過渡時代に於て、始めて資本主義的帝國主義となつたのである。」又殖民政策に就いて「資本主義的帝國主義の殖民政策を論ずる時には、我等は先づ次の事を認めなければならぬ。金融資本と國際政策とは結局世界の經濟的、政治的分割の爲の强國間の鬪爭を齎すこと丶なるが、それは又、國家的隷屬の多くの過渡的形態を創造すると云ふことである。支配國と隷屬國との二個の異つた國家群があると云ふのが此の時代の特長であるばかりでなく、諸々の形態の隷屬國家があると云ふのも其特長である。此れ等の隷屬國家は形式上に於ては獨立國の如く見られるが、事實上に於ては政治的にも、經濟的にも支配されつ丶ある奴隷的國家である事には些かの變りもない。西洋にあつては印度其他の諸國にあつては××の如き其隷屬たる事には何等の變りもない。」と。

凡ゆる侵略を擅にしつ丶ある資本主義國家は當然發達すべき所まで發達した。そして今最高階段たる帝國主義時代に入り近き將來に於ける崩壞を前にして、依然飽なき內外的搾取に必死の努力を拂つ丶ある。

遠き過去より今日まで被支配階級として酷遇され、被隷屬民として一切の自由を××され、一切の權利、幸福を××され××されたる萬國のプロレタリアートには××××の前夜たる此の帝國主義時代に於て、飽迄も遂行しなければならない歷史的の任務がある。

全世界のプロレタリアは此任務の前に脈々たる其熱血を湧かし、隆々たる其鐵腕を鳴らすであらう。全世界のプロレタリア團結せよ！

黄金

ミチハル

金を得る
方法を知らぬ吾故に
「馬鹿」と云はれて
あまんじてうく。

母上は
「不孝な子だ」と俺を云ふ
それに「違ない
だらうか……俺

孝行も不孝もみんな
「金故」と
あきらめてゐる俺の生活
何事も父は語らず。

母も然りき吾も然りき
そして別れぬ。

寢つ丶吸ふ
煙草の味のうまきかな
勞働部屋の收獲の一つ。

哀れなる
「生方」と思ふな
父母よ！、これが子の
精一杯の生方なれば。

天土の寒き朝なり
朝鮮の同志のたよりに
喰ぬとありしは

眼に見えて湧くにあらねど
体內の血潮は荒れて
音高く流る。

農村無產大衆へ

渡部信義

一

是迄の社會の發達過程と、組織構造とそしてその日常携はる仕事そのもの、性質上からして、生活上最も大切な役目を受持ち果しながら、然も尙百姓の生活は暗く慘であつた自然的にも、人爲的にも百姓と云ふ仕事は、榮ない、極割の惡い、苦い仕事である。其苦さに耐えかねて、是迄時々天に沖するやうな反抗の大火柱を上た事もあつた。が、大体は仕方がない、これも何かの因緣だと諦めて、その苦い暗い生活の中に蠢いてゐた實に百姓の生活は、虐待酷遇壓迫、搾取の慘憺たる、歷史である。何時も人間線以下の生活圈內をたどつてゐたのだ

二

考へてみるがい丶、今より五十餘年前には百姓は人間ではなかつたのだ虫けらに過ぎなかつたのだ。否、虫けらにさへ劣つて居たのだ 虫けらはそれ自身の生存の爲に働くが百姓は自分以外の者に供する米を取る爲めに働きながら

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

彼等武士とか云ふ人間の逆鱗に觸れるものなら一刀の下に切り捨られる憂目を見たのだしかも彼等の爲めに稻を植つける田植最中の繁忙極まりない時に、どうかした拍子に少し泥が撥ねかかつたと云ふ事だけで、――え丶、無禮者奴が！と一刀兩斷されて、それでも何とも云へなかつたのだ實に不合理極まる話だ。だが是までかつて合理が通つたことがあつたか、合理は通らなかつた。歪められた合理に過ぎなかつた。だからして無理が通らば道理で引込め、などゝくだらぬ諺言があるのだ。この諺言たるや、實に時の支配階級の御用學者によつて被支配階級を誤魔化し諦めさせる爲めに云ひ出され、そしてそれが一般の人間にもさう思はれ行渡つて來たのだ。

合理的生活をその基調とすべき社會生活に於て、かかる無理が通らば道理で引込め、などゝ云ふくだらぬ諺言を平氣で通用させて置く事それ自身既に大なる恥辱である。かくの如く過去に於て、吾々の先祖達が慘虐な生活の中に其生を終つて行つたことを思ひそしてまた現在の社會に於てもかくの如きを思ふ時、何とも云ひ難い憤怒に、此體中の血が逆流しのたうち廻り、燒かれるやうな思ひがする。

三

そんな堪まらない時代の後明治維新がやつて來た。それはその「維新」と云ふ文字が示す通り、新しい世界の展開を思はしめた。新しい社會の出現！いつさいの者の上に今までとは違つた幸福な生活が始まる、希望に充ちた時代を思はせた。百姓も人間である。他のいつさいの者と同じく自由であり、平等である、同權利を有する世の中となつた。昔は自分達があづかり知る事が出來なかつた政治と云ふものに自分達も參與する事が出來るやうになつた自分達自身の生活の幸福を圖る爲めに自分達が行ふべき政治を、昔は自分達が行ふ事が出來ず、他に任せて居るなければならなかつたのだ。

それが自分達の事を自分達で切望し、自分達の生活を良くし向上する事が出來るのだから、即ち自分達の生活の爲に代言する人間を代表者として選んで議會に送り、その議會によつて政治執行權を動かして政治を行はしめる事ができるのだから惡からう筈がない。吾農村に於る諸君は、他の一般大衆と共に自分達の生活の社會がやつて、來たことを思つて、新しい希望を抱いて新社會の出現に對した。

だが、實際は如何であつたか？、最初の希望と喜びは何處へやら、秋雨空の朝照りの如く忽ち希望と喜びは果敢なく消えて了つた。幾度かの選擧があり、議會があり、そして內閣の交迭を見たが、それにも拘らず依然として他の一般大衆の生活と共に百姓の生活も良くならなかつた。無闇やたらに切捨られると云ふやうな事はなくなつたけれど、生活の苦さには少しも變りはない。だが。生來が溫順朴訥で、百姓と云ふ仕事の性質上辛棒強くならされて來た吾々農村の諸君は、それでも選擧のある、度に參加し、その天晴農民の代表者顏をした代議士候補の立派やかなる堂々たる言辭政見に信頼して、これこそ自分達の生活の爲めに働いてくれる適當な人物だらうと思つて選擧の運動に奔走したそしてその彼等の言葉通の生活が實現されることを賴みにして待つたのだ。また內閣の變る度に新しい希望をかけたのだ。だがそれは決して實現されなかつた。それは選擧時に於ける一時の戲れ事に過ぎなかつた。人氣取ごまかしの行はれざる政見政策に過ぎなかつたのだ。

四

此處に於て、吾農村に於ける諸君、は他の一般大衆と共に、また再びどん底の闇の中に突落された。その結果多くの人々は固く自分の心を引縮めてしまつた。人間の世の中と云ふものはこんなものだ、とても良くなりつこはないと云ふやうな考へを頭の中に深く刻みつけてしまつた。いい世の中になることを信じないどんない丶事をいつても頑として信じないやうになつた、いゝことを云へば云ふ程猜疑ふやうになつた。それは實際現在までのところではさうであるのが現實生活の爲めによかつたものだ、

だが、吾々は考へねばならない。吾々は吾々の力によつて吾々の生活を良くすることができないだらうか。吾々の生活を良くする爲に眞に吾々が吾々の政治を行ふことができないだらうか。歐洲大戰後の澎湃たる社會運動勞働及び農民運動なるものは何を意味するか。これも矢張這迄の政治家などゝ稱する人間達の云ふ所の如き單なる美辭麗句のそれに過ない運動であらうか羊頭を揭げて狗肉を賣る者の類に過ない運動であらうか、吾々は考へなければならない一体何故是までの政治家などの云つたことは實現しなかつたのであらうか、そして百姓は今尙苦い生活を續けねばならないのであらうか。

五

だが彼等在來の政治家などの云つたことが實現しなかつ

たのは、至極當然なことなのである。何故なれば、それは是までの社會の發達過程と組織構造とを考へてみれば分るのだ。人類はその出現の當初からその生を維持し擴充する爲めに、その邊が性質に適した最も良い生活樣式として集團的生活、即ち社會生活を營んで居つたのであるが、吾々は過去の人類歷史を顧みる時に、そこに種々なる社會生活と、その社會生活を支配する者の存在せることを知るのである。支配者とは何か？支配者とは、この社會生活の根本條件をなしてゐるところの生產過程に於る優越者である、人類社會生活の當初に於る原始共產社會以後、生產力の發達と共に、ある者に依つてこの生產過程に於る優越的地位を占らるゝに至つた。かくて支配者と被支配者との階級的社會生活が出現した。これより以後一般大衆は被支配者として〇〇〇〇生活を送つて來たのである　その初智力に依ると武力とを問はず、一度この社會の生產過程に於ける優越的地位を占た彼等は支配者として、法律宗教道德教育等すべてその道具として、己が生產過程上に於ける優越的地位を維持し己が〇〇〇〇〇〇やうな生產條件、經濟組織、即ち社會制度を造つて政治を行ひ、さうして專ら大衆生活の搾取に沒頭し君臨する。

是までの社會の歷史は要するにこの支配者の首のすげ換への歷史に過ぎなかつた、そしてその社會の諸制度、組織構造は支配者の生活を中心にした諸制度・組織構造に過ぎなかつた。かくして一般大衆の生活は常に暗く慘めであつて良くなることはなかつた

六

遠いことは云はぬ、封建時代に於ける諸候なるものは、この支配者なるものゝ一であつたのだ。ところがこの封建諸候の地位を奪ひ、それに代つたのが現代のブルジョアだ

かくの如くして明治維新なるものは、要するにブルジョア支配の社會出現の爲の變革に過ぎなかつたのだ、然るに何故一般大衆に自分らの爲の社會出現の如く思はしめたかと云へば、それは彼等ブルジョアが封建諸候を斃してそれに代る爲、この變革に際して、どうしても一般大衆を自分の味方として封建諸候に當らなければならなかつたからである。

そこで彼等は自由平等、いつさいの者の爲の新しい政治の實現など、云ふ美辭麗句をならべたてた。そしてまんまと一般大衆を欺き瞞して味方に引入れ己が目的を達したのである。かくて己が目的を遂したブルジョアが己が生活の爲に一さいの過去の制度を改め政治を行ふのに專心したのは云ふまでもない。だからして一般大衆にとつて形式上言論結社の自由は認められながら、その實質が與へられず、平等は認められながらその實質がないのだ。幾度かの選擧と議會と内閣の交迭にも拘らず生活は少しもよくならないのだ要するに一般大衆の代表者顏をした是までの政治家なるものは、このブルジョアの一分子に過ぎないのだ、彼等の稱へた美辭麗句は單なる美辭麗句に過ぎないのだ。一般大衆の爲めの政治を行ふにしても、それは自分らの地位を脅かさざる埒内のことであつて一歩でもそこより出ることはない。かうしたブルジョア支配の、ブルジョアの生活の爲めに政治が行はれる社會にあつて、それ以外の一般大衆が支配者とてもやはり同人間であると云ふ考へからしてその正義感に訴へて自分らの生活の幸福を望んだところで、とうていかなはぬ相談である。

かうした社會のカラクリを明かに察知しなかつた吾農村の諸君の多くが、是までの社會の事實に對する絶望感から、とうてい人間社會はよくなるものでないと考へるやうになつたのはまことに當然である

七

だが、吾々は今やかかる古くさい考へ方を捨去らなければならぬ。是まで過去の事實を見て人間の社會はこんなものだ、とてもよくなりつこはないなどと云ふ考へ方を捨去らなくてはならぬ。之までの社會に於て常に一般大衆が生活苦に苛まれなければならなかつたのは、是までの社會の組織構造の然らしむるところである。即ち社會生活の根本條件をなしてゐるところの生產組織を己が手に收め、己の生活を中心として生產力を動かし、そして法律宗敎道德敎育等すべてその道具として行使して搾取の政治を擅にする支配者なるものが存在してゐたからである。そして現在に於てはブルジョアがその支配者として存在してゐるからである。

吾々はこの社會から搾取者支配者、ブルジョアを〇〇〇〇、新しき生產組織社會組織をつくることに依つて吾々の社會生活を實現することができるのだ。澎湃たる社會運動は何を語るか？、吾々は絶望と諦めと屈從との古い過去の世界から脱して、階級意識に目ざめ、敢然新しく自分らの社會實現の爲めに蹶起しなければならぬ。都市に於ける勞働者鑛山に於ける勞働者その

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

他現社會の下に虐げられつゝある無産大衆と相携へて共にブルジョアに〇〇〇〇生活を〇〇〇〇〇〇戰ふべき時である。未來は吾々無産大衆に輝く！（完）

新刊紹介

◆村に襲ふ波　加藤一夫著

現代に於て我々無産階級は到る處に隙間もなく張り渡された金力者の鐵條網の下に如何に抑壓され蹂躪され悲憤に嘆ぜなければならないか。此れは太平洋岸の一漁村に於て行はれた資本主義社會の典型的な、富豪と其金力の傀儡なる村郡當局者の無産階級抑壓と蹂躪の生々しき事實を取扱つた長篇小説であり又社會小説である。資本家であり、地主である一富豪が其金力により村民の生計の唯一の手段たる漁獲の業を村民より奪ひ、自己の一手に收めて一村をして生活の路頭に迷はしめ、其の上其の漁獲の爲めに要する砂利を村の海岸より採取して村をして恐ろしき怒濤の襲來に委せて死滅の淵に望ましめながら、しかも尚其の地方、縣、國家等の美名に名を藉り自己の利益の爲めに金力によつて村郡當局者を自己の手に操縦し今や一村の死活の爲めに奮然起つた村の青年の反抗の叫びを抑壓し蹂躪し終せるまでの經緯を、作者は數多の人物と場面を錯綜し自由暢達な筆を以て、少しも倦ませる事なく次から次へと事件を展開せしめてゐる。固唾を呑んで此小説を讀み終る時、無産階級の諸君は自己の解放は、唯自己の强固なる團結によつて始めて達せられると云ふことを深く考へさせられるだらう。近來の注目すべき小説である。社會運動の鬪士は勿論全無産階級諸君に是非一讀を薦める。（定價一圓三十錢日本橋區數寄屋町一、大阪屋號書店）

◆日本勞働年鑑　十四年版大原社會問題研究所編

大正十三年の勞働界の狀勢を細大洩らさず七百頁に收めたものである。正確を以て定評ある貴重なる統計研究資料である。社會學徒のみならず我等に取つても非常に參考となるべきことが多い（定價四圓神田區駿河台西紅梅町同人社）

◆社會惡と反撥　神近市子著

氏最近の論文である。收むもの、等しき自由等しき義務下獄二年、今日の文壇に對する要求、藝術に於ける婦人の位置等十七篇、人として思想家としての氏を知るには此の論文によるべきである。（定價一圓三十錢神田區錦町一ノ一三求光閣）

◆勞働年鑑　産業勞働調査所編

此年鑑は調査曖昧、統計杜選、記事不正確である。評議會の廣告に過ぎず、價又極めて高し、一方の組合に偏した所で出版された出版物は公平を缺ぐ、大原社會問題研究所編纂にかかる年鑑に劣ること遙に數等、此の調査所は例の石本大將の息惠吉が創立者であることを見て推して知るべし（定價二圓）

◆インターナショナル發達史　淺野研眞著

本書はインターナショナルの發達史的研究書である。苟くも勞働問題、社會問題を論ぜんとする者の必ず一讀すべき基本的重要事項を收めてある（定價一圓小石川區小日向台町二ノ一九文化學會）

◆東京は熱病にかゝつてゐる　高群逸枝著

著者は本書によつて本當の自分といふものを表はしたといひ其序文に、政治教育、宗教、藝術、婦人問題、戀愛、法律等の眞理と、本質とを、私は此詩集の中で説かうとした。私は詩といふ普通の機會を無視して本書を編んだといつてゐる。

現代の社會に絶ざる不憤を挫く一反逆女性の詩集、一讀されんことを望む。（定價一圓九十錢府下大久保百人町一二二萬生閣）

愛知縣より

■往年自由黨勃興期に際しても他の府縣に率先して板垣伯の傘下に馳せ參じた猛者連を多數に猆出し又次で日露戰爭頃より擡頭し始めた社會運動解放運動に共鳴する者所謂志士たちも尠くなかつたが幸德事件以來官憲の壓迫頻りにそれ等の人の上に加へられた之が爲表面的運動は一時その影を收めてゐた然るに時潮の進展に伴ひ無産大衆の求めて止まなかつた普通選擧法が此處に實施さるるに至つては先覺者を以て任じて來た者の意氣いかでか揚がらざるべき

■昨夏中京名古屋市に於いて旗幟をひるがへした無産政黨期成同盟會は當時市會議員選擧の準備らしく其の名聞の麗しかりし割合に廣く地方的勢力を植へ付なかつたのは遺憾である併し之を動機に各郡部に散在する同志は不言不語の裡に鼓舞されて奮起の情勢にある邊には縣下知多半嶋の勞働町常滑に於ては牛馬車土木工等の自由勞働者を中心に勞働相互組合の成立を見るに至り杉江常松吉房仲佑君などが牛耳を取り既に數百名の組合員を有し着々と發展しつゝある又同半嶋内の富豪の集点地たる半田町には加藤今一郎氏の經營する無産階級政治運動をスローガンとする春秋紙あり又無産政黨樹立の哨衞として新政聯盟なる政治結社ありて戰線に現はれ奮鬪を續けて居る

社會主義講話（一）

石川準十郎

社會主義とは何か？これこそは今や一時代の人悉くの耳目をそばだてしめて止まない一個の世界の合言葉である今世期卽ち二十世期の歷史は恐らく全世界に亘る社會主義の實行と共に暮るであらう。社會主義への正しき理解の必要今より急なるはない。田に鍬打つ農夫も、仕事場に槌振る勞働者も、今や暫くその手を休めて、社會主義の說く所に耳を傾ける必要がある。

社會主義とは何？社會主義とは、先づ一言にしてこれを言ふならば、今の社會の經濟的仕組を改へることによつてこの世の中より貧乏人を無くし、以て社會の大多數を占る（全人口の約九割を占る）無產階級の生活を解放せんとするものである。

經濟とは、物を作つたり運んだり（生產）、これを賣買したり（交換）、その分前を分つたり（分配）、又これを使用乃至費消したり（消費）する關係及び、物（財產）を所有する關係を總稱して言ふ。

無產階級とは、生產機關を所有せず、生んが爲にはその勞働力を賣らざるを得ない所の人々換言すれば他人に傭はれて生て行かざるを得ない所の人々を言ふ。生產機關とは物を生產するに必要な物を言ふ。然らば社會主義は、今の世の中のその經濟的仕組をば如何なる理由によつて、如何に改へようとするものであるか。

我々は、これを知る前に、先づ社會主義に對して今日尙往々にして世間に行はれて、居る誤解に就いて、明かに知る所あらねばならない。この種の誤解たるや、今日學問的には全く問題とされない所のものであるけれ共、實世間に於ては未だ理解なき人々の間に社會主義を誤ること往々にして甚だしきものがあり、此誤解を明かに諒解して掛ることは、社會主義を正しく理解する上に、極めて必要なことであるからである。

（一）社會主義に對する誤解

（一）社會主義は氣儘な人間の勝手な空想ではない

社會主義に對する甚だしい誤解の一つは、社會主義を以て、氣儘な人間の勝手な空想でゞもあるかの如く考へることである。我々は此種の誤解者を屢見る。此種の誤解者達は一樣に、社會主義などは何時までたつても出來るものではない社會主義者などゝ云ふものはつまらんことを唱へて世の中を騷がせるものだ、怪しからん、位に考へてゐる

これは途方もない誤解である。社會主義は決して、氣儘な人間の勝手な空想ではない

社會主義は最近の最も進步した學問の上に動かす可からざる根據を有して唱へられて居るものである。社會主義は今日の學問上、世界の文明國に於ては何れの國に於ても、行れば出來るものである許でなく、遂に必ず行らざるを得なくなつて居るのである。之等の人々は、今日世界の學問の論議の中心點は、實にこの社會主義の上に掛つてゐると聞いたら、さぞ驚くであらう。今日有產階級の學者達は、其智囊を盡し其全力を擧てくても、尙社會主義の學問的基礎に微動だに與へることが出來ないのである。それを、社會主義を以て氣儘な人間の勝手な空想であるなどゝ考へるのは、全く今日の學界の趨勢を知らざるものであつて、これこそ何等の根據もない考へなのである。

有產階級とは、社會的生產機關を所有し、他人（勞働者）を使用して生活する人々、換言すれば利潤、利子、地代等の剩餘價値（不勞所得）に依つて生活する人々を云ふ。剩餘價値に就いては後に詳しく說明す。

社會主義が果して空想であるか否かは、今日の世界の實際の大勢を見れば一層よく分る。社會主義が眞に、氣儘な人間の勝手な空想などであるならば、決して實際の勢力となり得るものではない。然るに、今の西歐の先進國に於ては、社會主義は既に動かすべからざる勢力となりつゝあるのである。卽ち、ロシアに於ては既に社會主義者が政權を握り社會主義の實行にかゝつて居り、英國、獨國、佛國等に於ては、社會主義の政黨は既に議會の三分一以上を占るまでに至つて居り、其二分の一を占るの日將に近からんとして居るのである。それを、社會主義を以て氣儘な人間の勝手な空想であるなどゝ考へ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

て居るのは、全く世界の大勢を知らざるものであつて、白晝大道に寝言を言つて居る様なものである。

（二）社會主義は無秩序の社會を來たさうとするものではない

社會主義に對する甚だしい誤解の他の一つ、は社會主義を以て恰も無秩序の社會を來たさうとするものでであるかの如く考へることである。之等の人々は、社會主義の世の中になつたら、何でも強い者が勝の亂暴社會でも來るかの如く考へ、憎惡心乃至恐怖心を抱く。そして、その甚だしいものになると、社會主義と云へば何か盜摔か火つけの兄弟分位に考へて居る。

社會主義が斯も誤解されるに至つたのは、果して社會主義者自身の罪であるか、それとも何でもかんでも社會主義を惡いものにしてしまはうと努めてゐる支配階級の人々の罪であるかは、暫く此處に問題としないが、兎に角、これは途方もない誤解である。

支配階級とは、ブルジョア及び官僚、軍閥、貴族を意味する。其中でも今日決定的勢力を有するものはブルジョアである。其意味に於て今日はブルジョアの世の中である。

社會主義は決して、左樣な無秩序の社會を來たさうとするものではない。それ所か、正に其正反對である。社會主義が、今のブルジョア社會を攻擊する中心點は、今の世の中は「經濟的無政府主義」であると云ふ點にあるのである。人類の社會生活を政治的と經濟的とに大別して見る時、政治的には如何にも大体秩序が保たれて居るけれども（それも甚だ不完全不公平なものであるが）、人類の社會生活に於て最も大切な經濟的には、全く無秩序、無統一の――無政府主義の――世の中なのである。而して、其經濟的無政府主義の結果として、社會の大多數の人々は貧乏と云ふ社會的檻の中に苦んで居るのである。されば、今の政治的秩序なるものは結局、この社會の大多數の人々を貧乏に陷れて居る所の經濟的無秩序を維持するための、換言すれば社會の大多數の人々を貧乏といふ社會的檻の中に留置して置くための、不合理極まる秩序たるの非難を免れないのである

社會主義は、この人類の社會生活の最も基礎的な經濟的方面までを秩序あるもの即ち有政府的のものにしなければならないと主張するのである

否社會主義は、何より先づこの經濟的方面を有政府的のものにしなければならないと主張するのである。否、社會主義は、何より先づこの經濟的方面を有秩序的有政府的のものにしなければならない、さうでない限り眞の意味に於る人類社會の秩序なる――正義の正義として通る――世の中は到底望まれない、と主張するのである。だからして、社會主義の世の中こそは、眞に秩序ある世の中である。それを、社會主義の世の中になつたら、何でも強い者、亂暴な者が勝の無茶苦茶な社會が現出するだらうなどと考へるのは、全く飛んでもない。誤解なのである。

今のブルジョアの世の中即ち資本主義社會が、如何に經濟的に無政府的、無秩序的であるかに就いては、追つて說明する所である

（三）社會主義は社會の全財產を各人に平等に分配せんとするものではない

社會主義に對する稍進んだ誤解の一つは、社會主義を以て恰も、社會の全財產を各人に平等に分配せんとするものであるかの如く考へることである。多くの人々はこの種の誤解に陷つて居る。そして稍もすれば次の樣な見當違の攻擊をさへ試みるのである。即ち曰く、今日社會の全財產を各人に平等に分配するも、明日又不平等を生ずるであらうと。

然し乍ら、社會主義は決して社會の全財產を各人に平等に分配せんとするものではないのである。社會の全財產即ち富の中最も重要なものは生產機關である。而して社會主義の主張する所は、生產機關の分散（個人の手へ）ではなくして、集中（社會の手へ）である。即ち、社會主義は今日個人の手にある所の社會の生產機關を國家の手に集中せよと換言すれば公有にせよと主張する。そして決して各個人への分配を許さないのである　だからして社會主義を以て、社會の生產機關を各人に平等に分配せんとするもの、如く考へたならば、それは非常な誤解であつて、社會主義は正に其正反對なのである。

社會の富（財產）は、大体これを生產機關生產財と消費資料（消費材又は享樂材）との二つに分て考へることが出來る。生產機關とは、前にも簡單に云へるが如く、物を生產するに必要な物を言ひ、土地、原料、工場、機械其他を意味し消費資料とは大体日用品を意味する。

社會主義、が分配を要求するのは、社會の全財產の中の消費資料に就いてゞある然し乍ら、それは社會的に公平な若くは適當な分配を要求するのであつて、必ずしも平等な分配を要求するものではない社會主義の分配方法にも種々

あり、平等な分配方法は幾も有力な其一つに過ないのである。社會主義の分配法に就いては、後に詳しく說明する所である。

之を要するに、社會主義を以て、社會の全財産を各人に平等に分配せんとするものであるかの如く考へるのは、以上の如く非常な誤解である。社會主義の主張する所は、分有私有でなくして正に其正反對の合有共有なのである。分産ではなくして集産なのである。

（四）　社會主義は自他若しくは公私の區別なく一切の物を互に勝手に使用乃至消費せんとするものではない

社會主義に對する稍進んだ誤解の他の一つは、社會主義を以て恰も、社會の一切の物をば、自分の物他人の物公の物私の物の區別なく、互に勝手氣儘に使用乃至消費せんとするものでもあるかの如く考へることである。社會主義は生産機關を共有せんとするものであるが故に取りも直さず共有財産主義即ち共産主義であるが、この共産主義と言ふ言葉は、稍もすれば多くの人々に右の樣な誤解を起させる。この種の誤解者の或者は、社會主義又は共産主義と云ふと、何か他人の下駄でも無斷ではいて行くものであるかの樣に心得て居る。他の或者は又、社會主義乃至共産主義の世の中になつたら、何人でも、働かないでも、社會のものを手あたり次第に使用若くは消費する權利があるかの樣に心得て居る。そして屡次の樣な奇問を發する——社會主義乃至共産主義の世の中になつたら働く者があるまい。

然し乍ら、社會主義は決してそんなものではないのである、社會主義を以て右の樣に心得て居る人達は、未だ社會主義と云ふ言葉の抽象的意味をさへも理解しないものである。社會主義は個人主義の反對である。社會主義は、他人に迷惑を及ぼす樣な、又は社會に迷惑を及ぼす樣な、個人の自由（我儘勝手）をば絕對に許さないのである。其樣な個人の自由を許さないと云ふ所に社會主義と云ふ言葉の意味があるのである。今日他人の生活を傷つけ、社會の生活を害する所の資本主義——資本主義は個人主義を基礎として立つてゐるものである——に反對するが、即ち社會主義なのである。其社會主義が、他人の迷惑となり社會の迷惑となる樣な、即ち社會の一切の物をば自他若くは公私の區別なく互に勝手氣儘に使用乃至消費せんとするやうな、個人自由主義を許さう筈のものではないのである。

即ち、社會主義乃至共産主義の下に於ては、生産機關は共有とせられ、斷じて個人の勝手な使用乃至消費は許されない。又消費資料は最も公平と思はれる一定の分配方法の下に分配せられ、斷じて他人の分配を浸すやうなことは許されない。而して、社會主義の下に於ては、老人、子供、病人を除く他は、何人も働かなければならない。働かざる者は食ふべからずといふのが社會主義の下に於る道德的、法律的原則なのである。

されば、社會主義を以て恰も、社會の一切の物をば、自他若くは公私の區別なく、互に勝手氣儘に使用乃至消費せんとするものであるかの如く考へるのは、非常な誤解なのである。

今日一般經濟學上に於ては共産主義なる語をば生産機關生産（要具、生産手段、生産財といふも同）のみならず消費資料（消費手段、消費財、享樂財と云ふも同）までを共有せんとするもの、意味に用ひ、之に反して社會主義乃至集産主義なる語をば生産機關のみを共有せんとするもの、意味に用ひるのが普通である然し、この意味に於ての共産主義は、今に於ては無政府主義のみが採用する所のものである。

編輯室より

■二月號も今夜漸やく編輯を終つた。今は既に十四日の午前二時、即ち眞夜中である。編輯の筆を擱いて、火鉢を抱へ、煎餅をポリポリと噛りながら、疲れ切つた頭を休める所謂、萬籟寂として聲なくの境である。M生と相對座して默つて編輯室用の五十燭光の電球を睨めてゐると、突然蒸氣ポンプの物凄いうなりが、死の如く更け靜つた街を疾走する響が、社のガラス戸をふるはす。

■火事だな、何處だらうと思つてゐると、三崎町だとの事だ。三崎町なら直ぐお隣りだと、武者振ひしてM生は立上る。僕は相變らず火鉢を抱へてゐると、火事は間もなく消えて終つたとの報知せだ。然しこの深夜に聽く蒸氣ポンプのうなり聲だけは、何時聽いても實に物凄くまた氣持がいい『進め』の編輯も、斯う云ふ氣持の所を出し度いとは、編輯部一同の念願なのだが、扨實際の所は、この念願を去ること遙かに遠くして、完く

社會講談

侠骨茂左衛門（一）

天涯茫々生

延寶七年も暮れやうとする十二月二十一日の朝、江戸板橋宿の正明院へ美々しく飾つた駕籠を守つて乘込んで來た一隊の武士達があつた。正明院の住職大徹老師は伴僧を連れて、門の前まで出迎へ駕籠の案內をして、本堂の階段まで來た。階段の前で駕籠はぴたりと留つて、左右に警固した武士達は後へ退つて土の上に膝を突く。大徹老師は駕籠脇に近寄つて、何か小聲に挨拶する。徒士目附とも覺しい老武士が駕籠の垂れを揚ると、內部から靜かに立出でたのは思ひもよらぬ艶やかな二十歲餘りの美女であつた。

美女は揃へて出された福草履の上に、その優婉な兩足を乘せると、地上に引ずらんばかりに丈長く着流したうちかけの裾をさばいて、二足三足階段を上らうとした。

その途端

ヅドーン、ヒユッと靜まりかへつた、寺院の境內の何處からうち放されたか、種ヶ島の筒音一發、本堂正面の葵の紋を彈丸はうちぬいてしまつた。

「狼籍者が御座るぞつ」と徒士目附の聲に、駕籠脇にゐならんだ武士達は、ばらばらつと總立ちになつて刀の柄に手を掛る

と、またもや一發、今度は階段の中央に立すくんだ美女の頭上を二三寸のところをかすめて、ヒユッと彈丸が飛ぶ。狙ひをはづれた彈丸は、傍の圓柱へプスリと深く射込まれた。然しさすがは禪門に名の聞こえた大徹和尙は、人々の立ち騷ぐなかに悠然とし、て、自分の身で美女の姿をかばうやうにしながら、落着きはらつた足どりで一階二階と本堂の階段を案內して行く。

また執念深くも三發目の彈丸が、引續いて狙ひうちにされた。今度は危く大徹老和尙の衣の袖を射通して板の間をうちぬいた。

階段の下に參集した數十人の警固の武士達は唯、手をつかねて立騷ぐばかり

この混雜の中を悠々と大徹老師は、美女を連て本堂の奧深く入つてしまつた

× × × × × ×

そのあくる日、二十二日には江戸市中に一つの噂がひろまつた。それは昨日板橋宿の正明院で上州沼田の城主眞田伊賀守信直の愛妾、お花の方に向かつて、種ヶ島をうち掛た不敵な曲者があつた。お花の方は無事であつたとも傳へられ、また重傷を負ふて危篤だとも言ひ觸らされたが、犯人のつかまらなかつたことだけは確であつた。

江戸市中は急に吟味が嚴しくなつて、町奉行所の手に調られる遊び人や浪士の連中は

恥かしい次第なんだが、然し追々とそれに近寄るべく、大馬力で奮鬪だけはして居る。同志諸君に於ても、編輯部を鞭韃されると共に、ドシドシ寄稿をお願ひする次第である

■從來からも言ふ通り、進めは全無產階級の戰鬪機關であつて、決して一部の人間のみの言論發表機關ではないのだ。だから本誌の論彈と全十戰報は、『進め』の記事中でも最も重きを置いてゐる。即ち論彈に於ては、無產階級鬪士の思想發表の機關であり、全十戰報では如何に我國の無產階級が搾取と迫害に苦んで居るかと云ふ、實際の記錄報道でありたい。と同時に亦、如何にして我無產階級が、その搾取と迫害とに對抗して、勝利を獲つゝあるかと云ふ、戰術上の討議機關でもあり度いと思ふ。本社の意の存する所を、充分に理解せられて、今後この兩欄への御寄稿を讀者諸君に向つて切に希望する次第である。

■進め編輯部に於ても、從來幾度か約束して居ながら、種々の障害の爲めに約束を果されなかつた、が先づ社告豫告

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

毎日のやうに殺々として續いた。然し何うしても知れない。知れないのも無理のない話なのである。眞田伊賀守の愛妾を狙ひうちにしやうとした犯人は、遊び人でもなければ、浪士でもなく、それは上野廣小路に店を出してゐた、寛永寺宮の御用商人松坂屋の下男茂作と云ふ、田舎者だつたのである。

さすがの目明し岡つ引も、この松坂屋の下男茂作の正体は知らなかつた

（二）

その頃、即ち延寶五年六年七年頃の、眞田伊賀守信直の領地内は、奸臣悪人の苛斂誅求で農民は生活苦のどん底に陥つてゐた。尙その上に信直といふ男が、また稀代の色魔で年頃の娘と見れば、掠奪同様にして城内へ召上られるので、何處の家でも火の消えたやうに生ける心もなく暮してゐる。ところへ延寶六年の秋から冬の初へかけて沼田領は大洪水に荒され、年貢米は愚日姓達自身の食ふ米さへ一粒もみのらずに、田は泥の下に埋められ、畑の作物は氾濫した河水と一緒に押流され、家は潰れ人は死ぬといふ惨状、それで結局、年貢米は召上やうにも手の施しやうがないとわかつたので、奸臣達は智恵を絞つて考案したのが、百姓達の家にある立樹に井戸、それに窓や入り口などの一つ一つについて課税をするといふ名案であつた、それでもまだ不足すると思つてか婚後には結婚税までも取立てたので、表面は僅三萬石といふ領地から十四萬六千石といふ高収入があるやうになつた。

そして其年の暮には愈々、勢多、吾妻の二郡に檢地があるといふことが知れ渡つたので、今迄押えに押えて我慢して來た農民達も、この檢地の噂を傳え聞いては、最早これ迄のことだ！と腹をきめて起つことになつたのである。

檄文は諸々の村々へ、さんざん堪えに堪へた生活苦のどん底から立ちあがつて、命を賭けての仕事を始めやうと、この機に應じて集まつた總代の者は、月夜野町の茂左衛門、野村の傳左衛門、向岩村の三郎左衛門、新巻村の十兵衛、川戸村の新左衛門、大塚村の長三郎、硯田村の市右衛門など皆それ〴〵に一代の智恵者と呼ばれる人達ばかり。そこで月夜野町の七郎左衛門といふのを兎も角も年長といふので座長に据えて、今度の勢多吾妻二郡の檢地があるについては、自分達百姓はどうすればよからうか、若此まゝで檢地をまつてゐるなら飢死にするより他はない。飢死にが嫌なら國越えをするか、若し仕損じて途中で捕まれば死罪獄門

「もう此處まで來てしまへば生るも死ぬるも同事ぢや。今度、檢地の役人が來なら、ぶつ殺してしまふがよい」と過激な議論を吐く者もある。

「いや、四人や五人の役人を殺したとて、それで檢地は沙汰止みとなるものではない。そんなことでは益々取立てが厳重になるばかりぢや」と反對する者もある。

「御家老山浦重太夫殿へ歎願して見ては……」と甲斐もない事と知りながらもいふ者もある

「何の、あの山浦の鬼めが、俺達の言葉に心を動かさうぞ、そんな暇があつたら、一思ひにあの鬼めの首でもねぢ切る手段でも考える方が利巧ぢや」と激しく反對するものもある。

「さうぢや、軍さの血祭に山浦の首を……」と

不穩の空氣は刻々に増して行く。折柄、此月夜野町の町はづれから聞えて來る、法螺貝の響に太鼓の音、何事が起つたのかと、一同は不安な思ひで耳引たてゝゐると、間もなく慌たゞしく駈込んできた一人の百姓は

「皆の衆、早くきておくんなせえ。かうなるからは腕づくで行かうと、村方の衆は集まつた。これから沼田の御城下へ押よせやうといふのでござんさあ」

遂に百姓一揆は爆發して終つたのであつた。氣の早い若者たちは、村の總代達の會議の結果を待切れずに、飛檄に應じて蓆旗を押立てゝしまつた。七郎左衛門は會議の席か

の通り、進めパンフレツトを同時に二種類出すことにした其他に研究會も近く復活する豫定であり、殊に讀者座談會は、月二回以上は必ず開催することにして、目下其の準備に忙殺されてゐる。決定次第に次號あたりでは、詳細に御知らせすることが出來ると思ふ。

原稿募集に就て

■全土戰報原稿——は成る可く本誌二段乃至三段位の長さの程度にて、各地方に於ける出來事を主にして報道されたい。事實の報道以外の批判は出來る限り緊縮したものに賴む。美辭麗句を並べた、内容空ッポなものよりは、文章なんかマヅくとも、大に歡迎する。

■論彈——は戰鬪的氣分の漲れるもの、解放戰線上に於ける出來事に對する卒直自由なる闘士の眞面目なる批評を歡迎す。長さは隨意だけれど成る可く三段乃至五段位の所に願ひ度し。

ら、直抜出して一の總大將となつて先頭に立て沼田の城へ押掛た。

然しその結果は知れてゐる沼田の城へ着く前に、その途中で或者は捕へられ或者は殺され、また殘りの者は傷を負つて逃亡するなど、五百餘名の一揆軍は散々に蹴散されてしまつた。

月夜野町の茂左衛門は、始めから此百姓一揆には參加しなかつた。總代會議の席から他の人達が、此一揆軍に馳せ加はらうとした時に、彼だけは理を盡して反對した。然し多勢に無勢で、皆が一揆に參加した時に、彼は默々として仲間と別れて一人、自分の宅へ歸つてきた。

間もなく百姓一揆敗北の悲報は、茂左衛門の耳に達した彼はその夜更けに、無事で逃歸つた同町の七郎左衛門の邸を訪づれて、自分の決心を仄めかした。

「何といはつしやる。江戸へ出て直訴をする。直訴は天下の御法度を知つての上か」と七郎左衛門は云つた。

「さればさ。それも他人樣は頼まねえ。下總佐倉の宗五郎さんが好い手本ぢや。皆の衆は今死ぬ命をも少し永らえて俺が死んだ後を幾度でも、願の屆く迄はやつて貰ひてえ」。

凄慘の氣は一室に充ち滿ちた。斯うなると二人の間には口に出して喋べらなくとも、眼を見合はせたゞけで、もう充分にお互の意志は通じ合ふやがて七郎左衛門の家を辭して歸つて來た茂左衛門は、妻のお峰を一室に呼んで決心を告げた。

お峰は默つて最後まで凝つと聞いてゐたが、聞き終ると唯一言。

「ようこそ決心して下されました。私も貴方の妻、他人樣に笑はれるやうなことは致しませぬ」。

俠骨茂左衛門は愈く起ち上つた。沼田の領地何萬人の農民の塗炭の苦みを背負つて、その窮狀を訴へる爲に、德川將軍家の膝元目指して、深夜そつと郷の町を忍び出た。

其茂左衛門の懷中に、彼が秘藏の逸品種ヶ島の短筒が深く收ひ込まれてゐたことは、女房のお峰でさへも知らなかつた。空は曇つて、時折に思ひ出したやうに村時雨……

（三）

江戸へ出た茂左衛門は、下谷黑門町口入稼業丹波屋喜右衛門の世話で、廣小路の松坂屋へ飯炊男に住込んだ。松坂屋へ入つたに就いては、彼に深い思慮があつたのである。

それは上野の宮家の御用商人で、この上野の寛永寺の宮家は、時の將軍家綱の御臺所と深い關係になつてゐる。茂左衛門が注目したのは此處で彼は松坂屋の關係から何時かは寛永寺宮の別當にでも近寄つて、それを緣故に宮家からの手續きで、直接に德川大奧へ訴へて見やうと考へたのである。

實直に勤めた茂左衛門は、その内に飯焚男から使歩きの男になつた。そして遂に機會はきた。寛永寺宮の側用人をしてゐる山口左仲といふ獨身者の武士と知己になることができた。二人とも獨身者の事とて、直親密な間柄となつて、やがては上野山下の居酒屋で、酒呑み合ふ程の仲のいゝ友達となつてしまつた。茂左衛門は密にこの機會を狙つてゐたのである。

然し豫てから計畫してゐる大奧への直訴の機會は仲々來ない。それならば伊賀守の登城を狙つてうち取らうかと、隙を窺ふけれど、これも警戒嚴重で其籠に近寄ることもできない。悶々の裡に月は經ち日は過て、延寶七年の十二月は來た。振返つて見ると、自分が大望を抱いて故郷を離れてから、一ヶ年は夢のやうに過てしまつた。茂左衛門は毎夜のやうに、寢床の中で懊惱煩悶した。

すると十二月中旬の或日に、思ひもかけず山口左仲から吉報を聞かせられた。

それはこの月の二十一日は眞田伊賀守の先代信吉公の法要が、板橋の正明院で營まれるに就いては、上野宮家の代參として自分も當日は御使者に行かなければならぬ、との話であつた。

會計規約

雜誌の御註文に關してはどうか左の事項に御注意下さい

一　雜誌に關する問合せ、注文等は會計係宛にして下さい

二　住所姓名は判り安く書いて下さい

三　誌代は成る可く六ヶ月分以上前納して下さい

四　集金郵便、代金引替郵便等の御注文はおことわりします

五　誌代の拂込みは振替が最も安全です（通信欄に用件を明記して下さい）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

「しめたッ。この機會を逃しては、伊賀守を撃つ折はない」と雀躍りせんばかりに躍り立つ心を無理に抑えて、茂左衛門は「百姓に生れた悲しさにはまだ一度もお大名の行列を拜んだことも御座りませぬ。田舎への土産話に、せめてお籠の近くでお殿様の顔を拜みたいもので御座りますが、それも武士で無くては叶はぬこと是非も御座りませぬ」と哀しさうに話した。

「何、そんな願なら譯もない御使者とは云つても拙者の役目は、宮家の御使物を正明院へ届けて、その受取狀を頂いて來るだけのことさ。誰にでもできる役目だ。どうだ茂平、二十一日にはお前一つ拙者の身代りに板橋へ行かぬか。すれば伊賀守の顔も眼の前で見られて願は叶ふ。拙者もこの寒いのに板橋へ行かずとも濟む」

「然しそんな譯の無いものでせうかねえ」。

「譯も蜂の頭もあるものか。もうかうなれば茂平、お前が嫌だと云つても拙者が承知せぬ。二十一日には是非行つてくれ」

もうかうなれば大願成就！と茂平の茂左衛門は、十二月廿一日の來るのを一刻千秋の思ひでまつてゐたのである

× × × × ×

二十一日は朝早くから茂左衛門は板橋正明院へ赴いて寛永寺宮の御使品を渡すと、本堂側の一室に休息して、伊賀守の參詣を待受たやがて正午の刻に近く、伊賀守の一行は叱々の聲を先觸れにして、正明院の山門を潜つた。茂左衛門は素早く衣服を脫ぎ、差してきた大小を棄てると、それを宮家の狀箱と一包みにしてそれに「寛永寺宮家内、山口左仲殿へ」と認めた一封を添て殘すと、此室から忍び出て本堂の傍の樹立の中に身をひそませた。其時はもう立派に上州月夜野町の百姓茂左衛門の姿と變つてゐた。

間もなく籠が本堂の前に下ろされて、内から立出でたのは伊賀守信直とは似ても似つかぬ一人の美女であた。

茂左衛門はあッと驚いた。驚いて種ケ島の短筒の引金にかけた指先を緩めた。が然し其瞬間にある直感が彼の頭にひらめいた「さうだ、この女一人が居る爲に、何萬人の百姓が生血を絞られるんだ。ウヌッ」。

短筒の引金はぐつとひかれた。

第一の彈丸は見事に狙ひがはづれた。

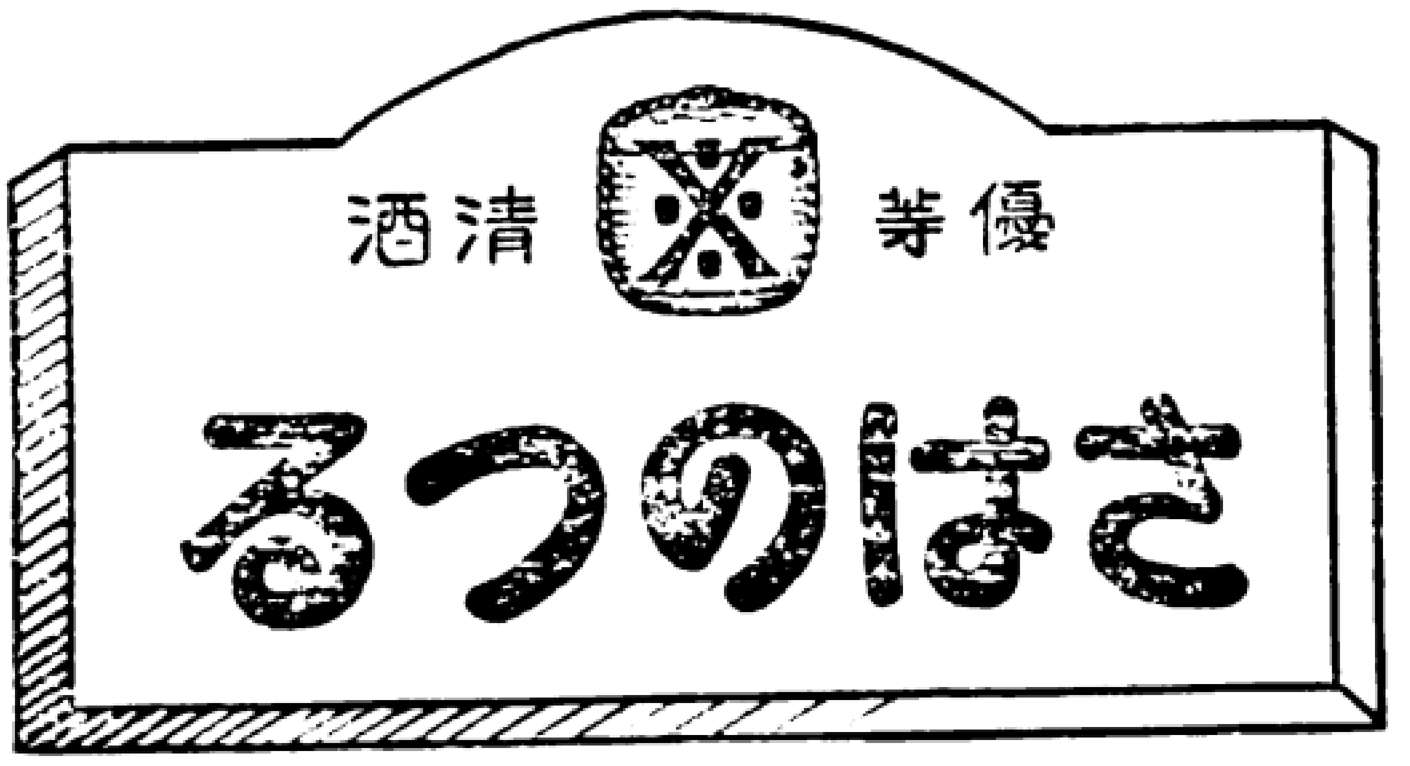
あはて、第二の狙ひ撃ち。

ところが、それも反れて、美女の立つてゐる傍の圓柱を射つた。

續いて――そしてこれが最後の第三發目を力一杯にひいた。ヒユッと風を切つて飛んだ彈丸は、女をかばうやうにして立つてゐた老僧の黑衣の袖を射ぬいて、鏡のやうに拭き込んだ板の上へブスッと音を立てた。

「惡運の強い奴だ」と唯一語。冷たい笑を洩らした茂左衛門は、種ケ島の短筒を懐中に納めて悠然と正明院を離れた。そして板橋街道を眞つ直に、江戸とは反對の方角に立去つた。

然し松坂尾の茂平の素性が知れて、茂左衛門の逮捕せられたのは翌年の一月。それが端緒となつて、眞田伊賀守の亂行が將軍家の耳に入り、所領沒收、御家改易となつて遂に眞田家は滅びたのは天和元年十二月である。



吉田只次著
農村の振興と改造
定價{並製 一圓七十錢 上製 二圓} 送料十四錢
横濱市南太田町字庚耕地一四一〇
發行所 凡人社
振替東京六〇七三九番

月刊 自由新聞
（一部拾錢）
東京市牛込區原町一ノ七二
自由新聞編輯事務所

鳥取縣米子町郊外大山驛前二本木
月刊 農民新聞
（一部八錢）
農民組合山陰聯合會

月刊 日本勞働新聞
（一部五錢 一年五十錢）
兵庫縣武庫郡鳴尾村上鳴尾
矢勝義雄方
日本勞働新聞社

吶喊！突撃！ブルジョア階級
總攻撃

奔流

定價　一部五錢　一年五十錢

屁理窟的理論より戰鬪的行動へ

大阪市東淀川區十三南ノ町
發行所　奔流社

金、銀、白金

東京市神田區松田町
徳力本店

消化と
毒けし

兩博士方劑
仁丹
懐中良薬

日本で一番安い

經驗のある者は無論のこと
初めての人に商賣氣をはなれて
御相談致します

ラヂオ
寫眞器及材料

ベルリン堂

東京市京橋區銀座三丁目十六番地
アオキ商店ヨコ
電話銀座三九〇五番

歐米時計類
眼鏡双眼鏡
測量諸器械
プラチナ地金

精工舍時計

ダイヤモンド
紀念盃徽章
寶石指環類
各種裝身具

服部時計店

東京銀座二丁目

女性の健康のために
家庭の幸福のために

喜谷實母散

女性が常に愛用すべき

□全國到る處の藥店にあり

定價表

壹帖	貳拾錢	二錢
參帖	五拾五錢	二錢
七帖	壹圓貳拾錢	二錢
拾四帖	貳圓參拾錢	六錢
卅一帖	五圓	十錢

送料

東京市京橋中橋大鋸町
本舖 喜谷市郎右衛門

清新な趣味と實用とに綾なす
内外のあらゆる流行品の豊富な

三越呉服店

大阪市高麗橋

地方よりの御注文は御手紙にて
通信販賣部宛に御願ひ申ます

實用百貨

松坂屋呉服店

大阪市日本橋區三丁目

良品廉賣

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

The Su-su-me Socialists Monthly
Head office No. 1 Sarugakucho 2-chome Kanda Tokyo.

最高最新

ユニオンビール

日本麥酒鑛泉株式會社

お買物は三越

品は良く、價は廉く、品數は豊富
三越には日常生活の御必要品は大抵御座います
良い品は東京に限ります
が東京でも三越の品ならば御安心であります

三越呉服店

東京駿河町

石渡泰三郎著

歐米百貨店事情

四六版 二五八頁 定價一圓九十錢 送料十八錢

著者は白木屋呉服店の重役として現大阪支店長として其經營に卓抜の手腕を有し、最近更らに海外に遊びて其事情を詳察歸朝せる斯界の權威。今其智識と經驗とを以つて歐米百貨店事情を叙す。該博の智識よく歐米百貨店の經營。組織を解し深甚の經驗よく百貨店の營業、生活の眞情表裏を盡して餘蘊なし。
時に又閑を得て歐米各地及風物人情の眞味を描く旅行案内記として亦好著たるを失はず
百貨店研究者は勿論、廣く一般小賣業者並に歐米未見の諸賢に敢へて一讀を薦む

發行所 大阪、堺筋 白木屋呉服店
賣捌元 大阪 盛文館 賣捌、市內書店及神戶出張店

大正十二年一月三十日第三種郵便物認可 每月一回一日發行 定價一部十錢（稅九厘）半年六十錢 一年一圓（稅共）發行所 東京市神田區猿樂町二ノ一
大正十五年二月一日發行 （振替東京六九八五三番）
廣告料 一行 一圓 一頁 三百圓 發行兼編輯印刷人

進め社本部